

江東区生物多様性地域戦略

～水と緑、過去と未来、生きものと人がつながる
持続的な自然共生社会を目指して！～

資料編

令和8（2026）年1月

江東区

資料編

目次

資料編

1	検討の経緯.....	1
2	策定委員会 設置要綱.....	3
3	策定委員会 委員・幹事校正.....	5
4	現地調査及び文献調査の方法と結果.....	7
5	エコロジカルネットワークの評価手法（dIIC）と評価結果の詳細.....	27
6	用語解説.....	39
7	参考文献一覧.....	41
	確認種リスト.....	巻末

1 検討の経緯

江東区生物多様性地域戦略を策定するため、令和6年度～令和7年度に江東区生物多様性地域戦略策定委員会を計4回開催しました。また、委員会における協議に必要な事項を調査検討するため、各委員会の開催前に幹事会を計5回開催しました。

表 1-1 江東区生物多様性地域戦略策定委員会等の検討経緯 (1/2)

開催年度	開催日	策定委員会		主な議題
		幹事会	本会議	
令和6年度	8月30日	第1回	—	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)江東区生物多様性地域戦略策定について ・その他
	1月16日	第2回	—	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果と課題について ・その他
	2月12日	—	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・委員紹介 ・江東区生物多様性地域戦略について ・その他
令和7年度	7月3日	第3回	—	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年春及び初夏の現地調査について ・第1回江東区生物多様性地域戦略策定委員会の振返り ・骨子(案)について ・今後のスケジュールについて ・その他
	生物多様性フェアにおける区民アンケートの実施(令和7年7月12日)			
	7月29日	—	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年春及び初夏の現地調査について ・第1回江東区生物多様性地域戦略策定委員会の振返り ・骨子(案)について ・今後のスケジュールについて ・その他
	9月2日	第4回	—	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)江東区生物多様性地域戦略(素案)について ・その他
	9月16日	—	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回江東区生物多様性地域戦略策定委員会の振返り ・(仮称)江東区生物多様性地域戦略(素案)について ・その他
	区民まつりにおける区民アンケートの実施(令和7年10月18日)			
	パブリックコメントの募集(令和7年12月11日～令和8年1月7日)			

表 1-1 江東区生物多様性地域戦略策定委員会等の検討経緯 (2/2)

開催 年度	開催日	策定委員会		主な議題
		幹事会	本会議	
令和 7年度	1月22日	第5回	—	・江東区生物多様性地域戦略（案）について ・その他
	1月27日	—	第4回	・江東区生物多様性地域戦略（案）について ・その他
	戦略の策定（令和8年3月31日）			

2 策定委員会 設置要綱

江東区生物多様性地域戦略策定委員会設置要綱

令和6年8月21日

6江土管第1794号

(設置)

第1条 江東区における生物多様性を保全し、魅力的な地域づくりの推進を図る江東区生物多様性地域戦略(以下「戦略」という。)を策定するため、江東区生物多様性地域戦略策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 戦略の策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるものの他、戦略に関し委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、区長が委嘱又は任命する委員20名以内の者をもって組織する。

- (1) 学識経験者
- (2) 生物多様性に関する活動を行う団体関係者
- (3) 生物多様性に関する活動を行う事業者
- (4) 江東区立小学校長会代表
- (5) 町会及び自治会代表
- (6) 公募区民
- (7) 政策経営部長
- (8) 地域振興部長
- (9) 環境清掃部長
- (10) 都市整備部長
- (11) 土木部長
- (12) 土木技術担当部長
- (13) 教育委員会事務局次長
- (14) 前各号に掲げる者の他、区長が必要と認める者

3 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から戦略の策定が完了する日までとする。

2 委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

(運営)

第5条 委員長は、委員会を招集し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、又は他の方法で意見を聴くことができる。

(幹事会)

第6条 委員会における協議に必要な事項を調査検討するため、幹事会を置く。

2 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事をもって構成する。

- 3 幹事長は、土木技術担当部長をもって充てる。
- 4 副幹事長は、土木部長をもって充てる。
- 5 幹事は、次に掲げる者をもって充てる。
 - (1) 政策経営部企画課長
 - (2) 地域振興部地域振興課長
 - (3) こども未来部保育政策課長
 - (4) 環境清掃部温暖化対策課長
 - (5) 環境清掃部環境保全課長
 - (6) 都市整備部都市計画課長
 - (7) 土木部管理課長
 - (8) 土木部道路課長
 - (9) 土木部河川公園課長
 - (10) 土木部施設保全課長
 - (11) 教育委員会事務局学校施設課長
 - (12) 教育委員会事務局指導室長
- 6 幹事長は、幹事会を招集し、会務を総理する。
- 7 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるとき又は幹事長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 8 幹事長は、必要があると認めるときは、幹事以外の者の出席を求め、又は他の方法で意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会及び幹事会の庶務は、土木部管理課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるものの他、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和6年8月30日から施行する。

3 策定委員会 委員・幹事構成

江東区生物多様性地域戦略策定委員会の委員・幹事構成は、以下のとおりです。

表 3-1 江東区生物多様性地域戦略策定委員会 構成員

No.	職名	氏名等	所属	備考
1	委員長	一ノ瀬 友博	慶應義塾大学 環境情報学部 学部長・教授 学校法人 慶應義塾 理事	学識経験者
2	副委員長	須田 真一	東京大学 総合研究博物館 研究事業協力者	
3	委員	大崎 由布子	区民公募	公募区民
4	委員	岡本 恵子	区民公募	
5	委員	阿河 真人	生物多様性チーム江東 会長 NPO 法人 ネイチャーリーダー江東 会長	生物多様性 に関わる 活動団体
6	委員	寺田 浩之	KOKOPELLI+ 代表	
7	委員	八色 宏昌	景域計画株式会社 代表取締役	生物多様性 に関わる 活動事業者
8	委員	小松 裕幸	清水建設株式会社 環境経営推進室 グリーンインフラ推進部 主席マネージャー 兼 設計本部 次世代環境ソリューション部 環境ソリューショングループ 主席設計長 兼 コーポネント企画室 SDGs・ESG 推進部 主席マネージャー	
9	委員	大森 千里	香取小学校校長	小学校長会 代表
10	委員	炭谷 元章	政策経営部長	行政
11	委員	市川 聡 ^{※1} 池田 良計 ^{※2}	地域振興部長	
12	委員	池田 良計 ^{※1} 大塚 尚史 ^{※2}	環境清掃部長	
13	委員	立花 信行	都市整備部長	
14	委員	石井 康弘	土木部長	
15	委員	山田 英典	土木技術担当部長	
16	委員	青柳 幸恵	教育委員会事務局次長	

※1 令和7年3月31日まで ※2 令和7年4月1日より

表 3-2 江東区生物多様性地域戦略策定委員会幹事会 構成員

No.	職名	氏名等	所属	備考
1	幹事長	山田 英典	土木技術担当部長	策定委員
2	副幹事長	石井 康弘	土木部長	策定委員
3	幹事	大塚 尚史 ^{※1} 小林 愛 ^{※2}	政策経営部企画課長	
4	幹事	上原 新次	地域振興部地域振興課長	
5	幹事	渡邊 明雄 ^{※1} 岩田 勉 ^{※2}	こども未来部保育政策課長	
6	幹事	西谷 淳	環境清掃部温暖化対策課長	
7	幹事	佐藤 生男 ^{※1} 川端 弘一 ^{※2}	環境清掃部環境保全課長	
8	幹事	谷川 寿朗	都市整備部都市計画課長	
9	幹事	大野 俊明 ^{※1} 清田 光晴 ^{※2}	土木部管理課長	
10	幹事	召田 和也	土木部道路課長	
11	幹事	清田 光晴 ^{※1} 古木 健人 ^{※2}	土木部河川公園課長	
12	幹事	古木 健人 ^{※1} 大野 俊明 ^{※2}	土木部施設保全課長	
13	幹事	西尾 基宏	教育委員会事務局学校施設課長	
14	幹事	金指 大輔	教育委員会事務局指導室長	

※1 令和7年3月31日まで ※2 令和7年4月1日より

4 現地調査及び文献調査の方法と結果

江東内における生物情報について、①本基礎調査における現地調査により収集できる現地調査データ、②WEB 検索や文献調査により収集できる公的データ、③江東区にて物多様性の保全に関する取組を行っている事業者等へのヒアリング等により収集できるその他データを整理し、区内の生物多様性の概況の把握を行いました。

(1) データ整理の基準

「現地調査データ」、「公的データ」、「その他データ」の整理は、以下の基準に従いました。

<整理基準>

- ・ 科種名については、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和 6 年 10 月 16 日更新版）」（国土交通省河川環境データベース）に準拠して、和種名で統一しました。
- ・ 重要種及び外来種の選定基準は、表 4-1、および表 4-2 としました。
- ・ 植物については、植栽種が存在することから、公的データの資料 No. 1「平成 30 年度 江東区緑視率等調査報告書」に記載されている植栽や逸出の種その他、種の生態・分布情報から江東区では植栽の可能性のある種について整理しました。
- ・ 魚類については、種の生態・分布情報から江東区では放流の可能性のある種について整理しました。

表 4-1 重要種の選定基準

区分	名称	法律・文献名	判定機関・発行者	制定・発行年	カテゴリー（括弧内は略語）	
法律	I 文化財保護法	「文化財保護法」（昭和25年5月30日法律第214号）に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種	文化庁	1950	国指定特別天然記念物（特国天） 国指定天然記念物（国天）	
	II 種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日法律第75号）に基づく国内希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種	環境庁	1992	国内希少野生動植物種（国希）	
図書	III 環境省 RL	「環境省レッドリスト2020」（環境省、2020年）、「環境省第5次レッドリスト」（環境省、2025年）、に掲載されている種	環境省	2020	絶滅（EX）	
					野生絶滅（EW）	
	環境省	「環境省版海洋生物レッドリスト」（環境省、2017年）に掲載されている種	2017	絶滅（EX）		
				野生絶滅（EW）		
	IV区部 V本土部	東京都 RDB IV区部 V本土部	「東京都レッドデータブック2023 -東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）解説板」（東京都、2023年）に掲載されている種（区部も含む）	東京都	2023	絶滅（EX）
						野生絶滅（EW）
絶滅危惧 IA 類（CR）						
絶滅危惧 IB 類（EN）						
（絶滅危惧 I 類（CR/EN））※						
絶滅危惧 II 類（VU）						
準絶滅危惧（NT）						
情報不足（DD）						
絶滅のおそれのある地域個体群（LP）						
留意種（留）						

※貝類、蘚苔類、藻類、地衣類、その他無脊椎動物のみのカテゴリー区分。

表 4-2 外来種の選定基準

区分	名称	法律・文献名	判定機関・発行者	制定・発行年	カテゴリー（括弧内は略語）
法律	Ⅰ 外来生物 法	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（法律第78号、平成16年）に指定されている種	環境省	2004	特定外来生物（特定）
					条件付特定外来生物（条件付）
					未判定外来生物（未判定）
図書	Ⅱ 生態系被害 外来種防止 リスト	「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省・農林水産省、平成27年3月）に掲載されている種	環境省	2015	国内由来の外来種（内）※ 国外由来の外来種（外）
					定着予防外来種 侵入予防外来種（定予） その他の定着予防外来種（定他）
					総合対策外来種 緊急対策外来種（総緊） 重点対策外来種（総重） その他の総合対策外来種（総他）
					産業管理外来種（産業）
—	移入種	—	—	—	植栽 放流

※表記は、国内由来の外来種で定着予防外来種の侵入予防外来種に該当する場合、「内定予」とする。

(2)現地調査データ

調査項目、調査方法、調査地点について以下に整理しました。

1)調査項目

R6年～R7年にかけて実施した現地調査項目は下表に示すとおりです。

表 4-3 調査項目


項目	回数	調査時期	調査地点数
植物	4回※	春,初夏,夏※,秋	16
哺乳類	2回	春,秋	12
鳥類	4回	春,初夏,秋,冬	13
両生類・爬虫類	2回	春,夏	12
昆虫	4回※	春,夏(2回※),秋	16
魚類	2回	春,秋	5
底生動物	2回	春,秋	5
プランクトン	2回	春,夏	1

2)調査方法

ア 植物相

植物相は、目視観察により調査を行いました。


表 4-4 調査方法 (植物相)

調査方法	調査内容	イメージ
目視観察法	<p>調査地点を任意に踏査し、生育する植物を目視観察により記録する。</p> <p>現地で種の判別が困難なものについては、標本を作成し、後日同定を行う。</p>	

イ 哺乳類

哺乳類は、フィールドサイン、夜間撮影、夜間調査により調査を行いました。


表 4-5 調査方法（哺乳類）

調査手法	調査内容	イメージ
<p>フィールドサイン法 目撃法</p>	<p>調査地点を任意に踏査し、個体の目視確認や死骸、フン、足跡、毛等の痕跡から生息種を確認する。</p>	
<p>夜間撮影 (無人撮影法)</p>	<p>動物が利用しそうな場所（けもの道等）に自動撮影カメラを設置する。自動撮影装置は一週間程度設置した後、回収する。</p>	
<p>夜間調査 (バッドディテクター)</p>	<p>ハンディ型のバッドディテクター（コウモリ探知機）を使用し、コウモリ類の飛翔状況を確認する。調査時間帯は、日没前後から数時間程度とする。</p>	

ウ 鳥類

鳥類は、目視観察法により調査を行いました。

表 4-6 調査方法（鳥類）


調査方法	調査内容	イメージ
目視観察法※	調査地点を任意に踏査し、出現する鳥類を目視観察により記録する（鳴き声による確認を含む）。併せて、行動（採餌、繁殖行動等）内容や、営巣環境の有無も可能な範囲で記録する。	

※「河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル[河川版]（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課、平成 28 年度 1 月改訂）」では、スポットセンサス法による観察を主な調査方法としているが、本調査方法では観察可能な範囲が限定される可能性がある。そのため、本業務では、より詳細な調査を実施するために任意踏査による観察を採用した。

エ 爬虫類・両生類

爬虫類・両生類は、目視観察法、捕獲法により調査を行いました。なお、捕獲した爬虫類・両生類は、原則現地にて同定し、測定・撮影後に、速やかに放流しました。

表 4-7 調査方法（爬虫類・両生類）

調査方法	調査内容	イメージ
目視観察法 捕獲法	調査地点を任意に踏査し、出現する爬虫類および両生類を目視観察により記録する（鳴き声による確認を含む）。また、個体の捕獲も併せて実施する。併せて、両生類は産卵場についても適宜把握する。	

オ 昆虫類（クモ類を含む）

昆虫類は、任意採取法、ピットフォールトラップ、ライトトラップ（ボックス法）により調査を行いました。

表 4-8 調査方法（昆虫類（クモ類を含む））





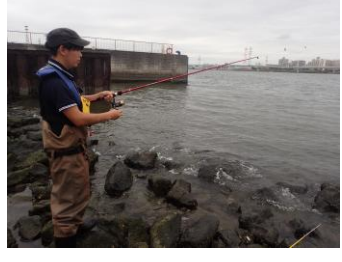
調査方法	調査内容	イメージ
任意採取法	<p>調査地点を任意に踏査し、見つけ採り、スウィーピング法、ビートイング法、石おこし採集等による方法で捕獲を実施する。捕獲した昆虫類は持ち帰り同定作業を行うが、明らかに種の特が定できるものについては、現地での記録にとどめる。</p>	
ピットフォールトラップ	<p>主に地上徘徊性の種を対象にプラスチックコップを地中に埋設したトラップを一晩設置し、トラップに落下した陸上昆虫類等を回収、持ち帰った後で同定作業を行う。 トラップは1地点（主要調査地点）当たり10個の設置を予定し、誘引剤（さなぎ粉等）を入れることで効率的に採取を行う*。</p>	
ライトトラップ（ボックス法）	<p>夜間、灯火に飛来する性質を持つ昆虫類を対象にブラックライト（紫外線灯）及び光源の下に捕虫器となるボックスを一晩設置し、ボックスに落下した陸上昆虫類を回収、持ち帰った後で同定作業を行う。 トラップは1地点（主要調査地点）当たり1つ設置する。</p>	

※「河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル[河川版]（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課、平成28年度1月改訂）」では、ピットフォールトラップに誘引剤（餌）を入れないこととなっているが、本業務では、より効率的な調査を実施するために、複数種類の誘引剤を用いた採取法を採用した。

カ 魚類

魚類は、夕モ網、投網、セル瓶、カゴ網、手釣りによる採捕により調査を行いました。なお、捕獲した魚類は、原則現地にて同定し、測定・撮影後に、速やかに放流しました。


表 4-9 調査方法（魚類）

調査方法	調査内容	イメージ
夕モ網	夕モ網を用いて河岸植物帯や沈水植物帯、河床の石の下、海浜沿い、砂や泥の中にある比較的小型の魚類を主に捕獲する。	
投網	川岸や海岸沿いを歩きながら網を打ち、水深の浅い場所や平瀬等の開けた場所にいる魚類を捕獲する。	
セル瓶	餌を入れたセル瓶を水中に固定し、流れの緩やかな場所にいる小型の魚類を主に捕獲する。特に異形ブロックの隙間等の投網や夕モ網での捕獲が難しい場所に設置する。	
カゴ網 (もんどり)	カゴ網は、流れの緩やかな場所での小型魚の捕獲に適している。特に、異形ブロックの隙間等の投網や夕モ網での捕獲が難しい場所で用いる。	
竿釣り	釣り糸と釣り針を有する漁具を使用し、漁獲する方法。釣り糸を直接人が手にとって操作して行う。	

キ 底生生物

底生生物は、定性採集により調査を行いました。

表 4-10 調査方法（底生生物）

調査方法	調査内容	イメージ
定性採集	<p>漁具※を用いて、多種多様な環境に生息している底生生物を偏りなく採集する。</p> <p>また、採集した底生生物は現地で5～10%の溶液になるようホルマリンを加えて固定し、室内に持ち帰りソーティングした後に、同定、計測を行う。</p>	

ク 植物プランクトン

植物プランクトンは、バンドーン型採水器を用いた採取により調査を行いました。なお、採水で魚類が採捕された場合には、その場で放流しました。

表 4-11 調査方法（プランクトン）

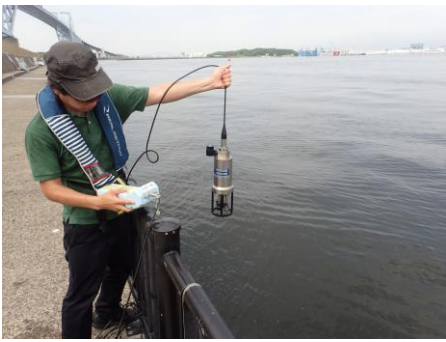
調査方法	調査内容	イメージ
植物プランクトン	<p>調査地点の直立護岸部で、バンドーン型採水器を用いて、表層（海面下0.5m程度）及び中層（水深の1/2程度）より採水し、室内で測定、同定、計数を行う。</p>	

表 4-12 各調査地点における調査項目

No	現地調査地点	調査区分	調査対象								
			植物	哺乳類	鳥類	両生・爬虫類	昆虫類	魚類	底生動物	プランクトン	
1	区立仙台堀川公園 区立横十間川親水公園	都市公園	○	○	○	○	○	○	○	○	—
2	仙台堀川公園 PES	都市公園	○	—	—	—	○	—	—	—	—
3	江東区役所	公共施設	○	○	○	○	○	—	—	—	—
4	南砂緑道公園隣の区道 (特別区道 346 号線)	区道	○	○	○	○	○	—	—	—	—
5	富岡八幡宮	民間施設	○	○	○	○	○	—	—	—	—
6	八幡橋緑道	区道	○	○	○	○	○	—	—	—	—
7	都立亀戸中央公園 区立旧中川水辺公園	都市公園	○	○	○	○	○	○	○	○	—
8	亀戸天神社及び周辺	民間施設	○	○	○	○	○	—	—	—	—
9	蔵前橋通り (都道 315 号線)	都道	○	○	○	○	○	—	—	—	—
10	都立辰巳の森緑道公園	都市公園	○	○	○	○	○	—	—	—	—
11	豊洲六丁目の区道 (区道江 597 号、 江 626 号周辺)	区道	○	○	○	○	○	—	—	—	—
12	豊洲ぐるりパーク	都市公園	○	○	○	○	○	—	—	—	—
13	都立水の広場公園	都市公園	○	○	○	○	○	○	○	○	—
14	新砂干潟	海域	○	—	○	—	○	○	○	○	—
15	若洲橋直下	海域	○	—	—	—	○	○	○	○	—
16	都立若洲海浜公園 海釣り施設	海域	—	—	—	—	—	—	—	—	○
17	荒川・砂町水辺公園 PES (下流)	都市公園	○	—	—	—	○	—	—	—	—
合計			16	12	13	12	16	5	5	1	

※No. 2、No. 17 は R7 年夏季より追加した調査地点。



図 4-1 現地調査地点

3)実施状況

表 4-13 現地調査実施状況

調査項目	調査時期	調査実施日	備考
植物	秋季	令和6年10月15日、16日	
	春季	令和7年4月21、22日	
	初夏	令和7年6月2～3日	一部追加地点調査を含む(No.2)
	夏季	令和7年7月15日	追加地点調査(No.14、No.15、No.17)
哺乳類	秋季	令和6年9月26日、27日	カメラは令和6年9月26日～10月3日、令和7年4月7日～16日に設置
	春季	令和7年4月7、8日	
鳥類	秋季	令和6年9月3日	令和6年9月はシギ・チドリ類の渡りを対象に新砂干潟のみ実施
		令和6年10月2日、3日	
	冬季	令和7年1月16日、17日	
	春季	令和7年5月1日、2日	
	初夏	令和7年6月18～19日	
爬虫類・両生類	春季	令和7年4月7日、8日	
	初夏	令和7年6月9～10日	
昆虫類・クモ類	夏季	令和6年7月25日、26日	
	秋季	令和6年9月24日、25日	
	春季	令和7年4月17日、18日	
	夏	令和7年7月7日	追加地点調査(No.2、No.14、No.15、No.17)
魚類	秋季	令和6年10月24日、25日	魚類・底生生物は同時実施
	春季	令和7年4月28日、30日	
底生生物	秋季	令和6年10月24日、25日	
	春季	令和7年4月28日、30日	
植物プランクトン	夏季	令和6年8月6日	採水日
	春季	令和7年4月30日	

(3) 公的データ

1) 収集データ

江東区内における生物調査の実施状況について、WEB 検索により収集整理しました。公的データは、河川水辺の国勢調査の調査手法に準じた行われたものを主な対象としました。

その結果、表 4-14 に示すとおり、16 個の生物調査等に関する資料やデータベースが確認されました。そのうち、江東区では 2 個の調査、東京都では 11 個の調査、国土交通省および環境省ではそれぞれ 1 個の調査でした。

東京都のデジタル版野生生物目録 東京いきもの台帳 (No. 13) は、河川水辺の国勢調査のように決められた手法に則った定型調査ではないものの、市民参加型の非定型調査 (市民科学データ) と過去の生息・生育記録である「標本・文献データ」、専門家による「観察情報データ」を合わせた台帳のため、整理の対象としました。

都立若洲海浜公園の海釣り施設 釣果は、生物調査データではないものの、釣り施設における釣果情報として東京港埠頭株式会社の「海上公園なび」HP にて公開されているため、整理の対象としました。

表 4-14 公的データの収集結果

資料 No.	資料・事業名	実施者	発行・実施年	実施目的
1	平成 30 年度 江東区緑視率等調査 報告書	江東区	平成 31 年 3 月	みどり等の実態について前回調査結果と比較・分析し、今後の施策に反映する基礎資料を構築する。
2	水鳥生息調査	江東区	定期的 (毎年)	区内の水鳥生息状況を把握するために実施する。
3	河川水辺の国勢調査	東京都建設局	定期的 (5~10 年に 1 回)	河川の適切な整備と管理のために、河川環境に関する基礎的な情報を収集する。
4	水生生物調査結果 報告書 (東京都内湾)	東京都環境局	定期的 (毎年)	東京都内湾での水生生物の生息状況を長期的に把握し、都民に分かりやすい水質改善効果を示す基礎データとする。
5	海の森に生息する生きもの	東京都港湾局	令和 2 年まで	- (具体的な記載なし)
-	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 実施段階環境影響評価書			
6	有明アリーナ	東京都	平成 29 年 1 月	オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う会場施設の整備、運営等による影響について、自主的な環境アセスメントを実施する。
7	有明体操競技場		平成 29 年 8 月	
8	有明テニスの森		平成 29 年 10 月	
9	海の森クロスカントリーコース		平成 29 年 3 月	
10	海の森水上競技場		平成 28 年 7 月	
11	アーチェリー会場 (夢の島公園)		平成 28 年 7 月	
12	オリンピックアクアティクスセンター		平成 28 年 10 月	
13	デジタル版野生生物目録 東京いきもの台帳	東京都環境局	定期的 (HP 更新)	いつどこに、どんな生きものが東京に生息していたのかを、誰でもが簡単に専用 WEB サイトで検索し、デジタルマップ上に表示することを可能にする。
14	河川水辺の国勢調査 河川環境データベース	国土交通省	定期的 (5~10 年に 1 回)	河川環境の整備と保全を適切に推進するため、河川の自然環境に関する基礎情報の定期的、継続的、統一的な収集整備を図るもの。
15	モニタリングサイト 1000	環境省	定期的 (毎年)	生物多様性に関する基礎的な情報の収集を長期にわたって継続して、日本の自然環境の質的、量的な変化を把握する。
16	都立若洲海浜公園 海釣り施設 釣果情報	東京港埠頭株式会社	- (これまでの釣果情報)	- (これまでの釣果情報)

※各データの文献詳細は「7 引用・参考文献一覧」に示します。

2)各文献の調査概要

収集した各公的データについて、それぞれが対象としている生きものと、その調査地点について表 4-15 に整理しました。調査されている地点については、図 4-2 に整理しました。

収集した各公的データは、経年的に調査が行われているものもあり、10 年以上前のデータまでさかのぼることができます。今回の整理では、以下の基準に基づいて整理を行いました。各公的データの調査年と整理対象とした年を表 4-16 に整理しました。

<整理基準>

- ・ 江東区における近年の生物相を把握するため、戦略策定の令和 7 年度から直近 5 カ年にあたる令和 3 年度までの調査データを主な整理対象としました。ただし、直近 5 カ年の調査データは限定的であることから、過去 10 年程度における調査データも参考として整理対象としました。

(昆虫類、クモ類は、資料 No. 3 東京都水辺の国勢調査において平成 24 年度の調査データがあり 10 年以上の記録になるが、同調査は江東区内の河川域を対象として網羅的に調査地点が配置されていることから、本整理の対象としました。)

- ・ 定期的に調査が行われている資料については、最新の調査年における調査データを対象としました。(資料 No. 3、No. 5、No. 14 が該当)
- ・ 直近 3 か年(令和 3 年～令和 5 年)で毎年調査が行われているものについては、最近の江東区の生物相を現わしていることを踏まえ、全て対象としました。(資料 No. 2、No. 4、No. 15 が該当)

表 4-15 公的データにおける調査対象と調査地点一覧 (1/2)

地点 No.	調査地点名	資料 No.	植	哺	鳥	爬	両	昆	ク	魚	底
1	釜屋堀公園 PES	1	●					●			
2	亀高小学校 PES	1	●					●			
3	都立清澄庭園	1	●		●			●			
4	富岡八幡宮	1	●					●			
5	仙台堀川公園 PES	1	●		●			●			
6	荒川砂町水辺公園「砂村」 PES	1	●					●			
7	荒川砂町水辺公園 PES	1	●					●			
8	新砂下水道用地	1	●					●			
9	潮見さざなみ公園 PES	1	●					●			
10	若洲橋周辺	1	●					●			
11	都立亀戸中央公園	1, 2			●						
12	都立猿江恩賜公園	1, 2			●						
13	富岡八幡宮・深川公園	1			●						
14	都立木場公園 PES	1			●						
15	横十間川親水公園	1			●						
16	隅田川河川敷・水面	1			●						
17	荒川河川敷・水面	1			●						
18	都立夢の島公園周辺	1, 11	●	●	●	●	●	●	●		
19	新木場二丁目地先水面	1			●						
20	若洲調整池	1			●						
21	仙台堀川公園・横十間川親水公園	2			●						
22	荒川（都立新木場緑道公園）	2			●						
23	豊洲運河	2			●						
24	清州橋付近（隅田川）	3	●	●	●	●	●	●	●		
25	中川大橋付近（旧中川）	3	●	●	●	●	●			●	●
26	小原橋付近（北十間川）	3	●	●	●	●	●			●	●
27	黒船橋付近（大横川）	3	●	●	●	●	●			●	●
28	福島橋付近（大島西支川）	3	●	●	●	●	●			●	●
29	西洲崎橋付近（大横南支川）	3	●	●	●	●	●			●	●
30	神明橋付近（横十間川）	3	●	●	●	●	●			●	●
31	未広橋付近（仙台堀川）	3	●	●	●	●	●			●	●
32	鶴歩橋付近（平久川）	3	●	●	●	●	●			●	●
33	新高橋付近（小名木川）	3	●	●	●	●	●			●	●
34	進開橋付近（小名木川）	3	●	●	●	●	●			●	●
35	荒荒下-2R	14			●						

表 4-15 公的データにおける調査対象と調査地点一覧 (2/2)

地点 No.	調査地点名	資料 No.	植	哺	鳥	爬	両	昆	ク	魚	底
36	荒荒下 0R	14			●						
37	荒荒下 2R	14			●						
38	改荒荒下 1 (魚類)	14								●	
39	改荒荒下 1 (底生動物)	14									●
40	都立海の森公園	5, 9	●	●	●	●	●	●	●		●
41	St. 6	4									●
42	中央防波堤外側(その2)東側	4									●
43	13号地船着場	4									●
44	中央防波堤内・外側埋立地	15			●						
45	都立若洲海浜公園海釣り施設	16								●	
46	有明アリーナ及び有明体操競技場	6, 7	●	●	●	●	●	●	●		
47	有明テニスの森	8	●	●	●	●	●	●	●		
48	海の森水上競技場	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●
49	オリンピックアクアティクスセンター	12	●	●	●	●	●	●	●		
計			27	17	34	17	17	17	7	13	16

- ※1) 調査項目の略称は次のとおり。植：植物、哺：哺乳類、鳥：鳥類、爬：爬虫類、両：両生類、昆：昆虫類、ク：クモ類、魚：魚類、底：底生動物・付着動物
- ※2) No. 3 及び No. 14 は、5年～10年に1回の頻度で行う調査であることから、過去10年程度を目安に江東区内における調査状況を整理した。
- ※3) No. 6 及び No. 7 は、同一の調査地点であり、同一の調査結果が掲載されている。
- ※4) No. 13 は、令和6年12月時点で昆虫類（トンボ目）のみの公表となっている。
- ※5) 資料 No. 13 東京いきもの台帳は地点ではなくメッシュで整理されているため、調査地点の一覧整理から除外した。

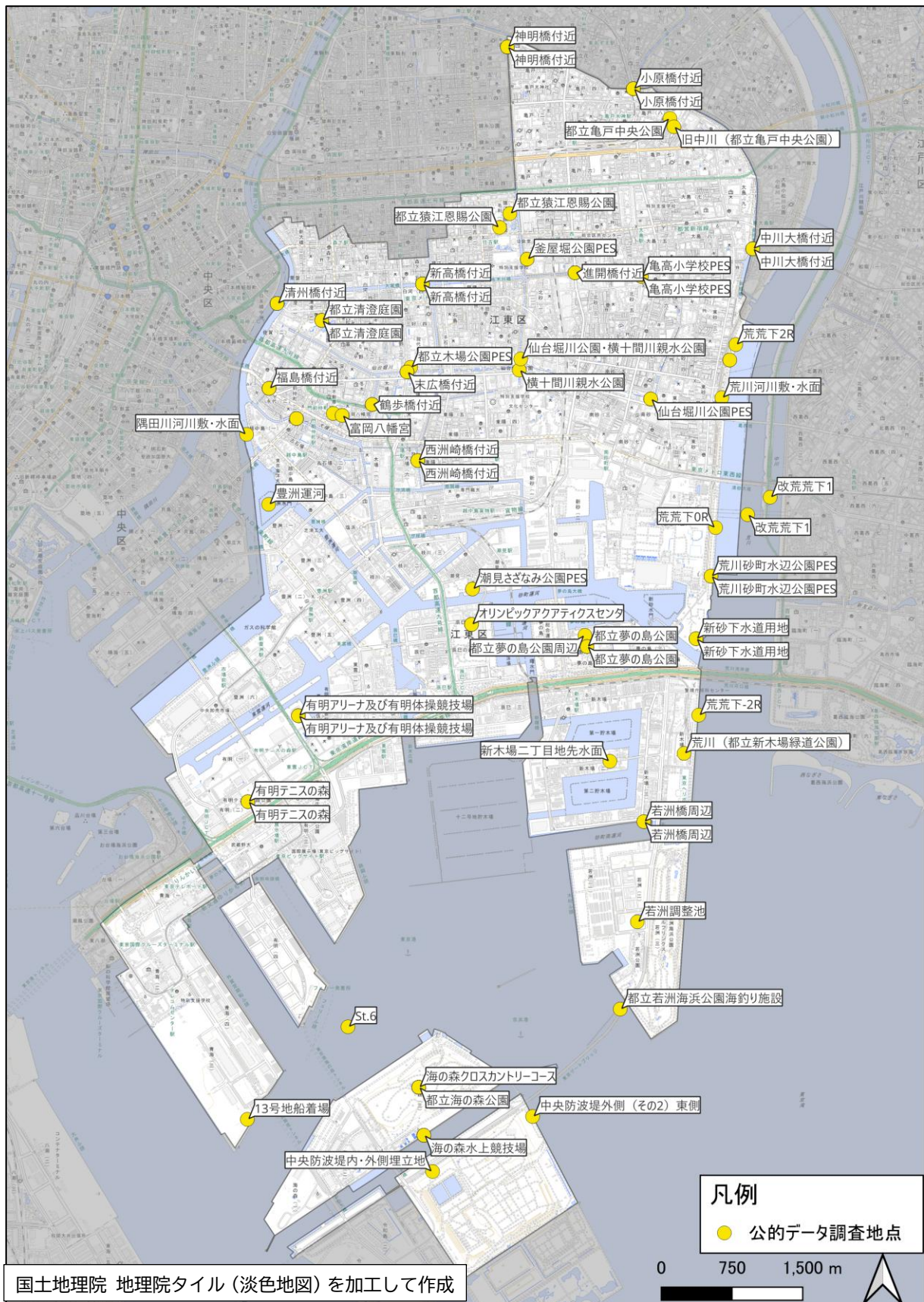


図 4-2 公的データ調査地点

表 4-16 公的データの調査実施年及び本データ整理における対象年（着色箇所）

分類群	No.	資料名	調査年																
			R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	
植物	1	平成30年度 江東区緑視率等調査 報告書								8,10									
	3	河川水辺の国勢調査（水系別調査結果）									●						●		
	5	海の森に生息する生きもの					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	6	実施段階環境影響評価書（有明アリーナ）											5,7,10						
	8	実施段階環境影響評価書（有明テニスの森）									5,8	8,10							
	9	実施段階環境影響評価書（海の森クロスカントリーコース）										8,10							
	10	実施段階環境影響評価書（海の森水上競技場）											5,7,10						
	11	実施段階環境影響評価書（アーチェリー会場（夢の島公園））											5,7,10						
	12	実施段階環境影響評価書（オリンピックアクアティクスセンター）											5,7,10						
	哺乳類	3	河川水辺の国勢調査（水系別調査結果）			●													
		5	海の森に生息する生きもの									●							
		6	実施段階環境影響評価書（有明アリーナ）											5,8	11,1				
8		実施段階環境影響評価書（有明テニスの森）									5	8,10							
9		実施段階環境影響評価書（海の森クロスカントリーコース）											5,8	11,1					
10		実施段階環境影響評価書（海の森水上競技場）											5,8	11,1					
11		実施段階環境影響評価書（アーチェリー会場（夢の島公園））											5,8	11,1					
12		実施段階環境影響評価書（オリンピックアクアティクスセンター）											5,8	11,1					
鳥類		1	平成30年度 江東区緑視率等調査 報告書								9,11,1								
		2	水鳥生息調査結果	6,9,12,1,1,9,12,1,1,9,12,1,1,9,12,1,1,9,12,1,1,9,12,1,2															
		3	河川水辺の国勢調査（水系別調査結果）									●							
		5	海の森に生息する生きもの					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	6	実施段階環境影響評価書（有明アリーナ）											5,6,8,9	11,1					
	8	実施段階環境影響評価書（有明テニスの森）									5	8,9,1							
	9	実施段階環境影響評価書（海の森クロスカントリーコース）											6,7,10,2						
	10	実施段階環境影響評価書（海の森水上競技場）											4,6,8,9	11,1					
	11	実施段階環境影響評価書（アーチェリー会場（夢の島公園））											4,6,8,9	11,1					
	12	実施段階環境影響評価書（オリンピックアクアティクスセンター）											4,6,8,9	11,1					
	14	河川水辺の国勢調査（河川環境データベース）									●								
	15	モニタリングサイト1000（シギ・チドリ類）			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	爬虫類・両生類	3	河川水辺の国勢調査（水系別調査結果）			●													
		6	実施段階環境影響評価書（有明アリーナ）											5,6,8	11,1				
		8	実施段階環境影響評価書（有明テニスの森）									5	8,10						
9		実施段階環境影響評価書（海の森クロスカントリーコース）											5,6,8	11,1					
10		実施段階環境影響評価書（海の森水上競技場）											5,6,8	11,1					
11		実施段階環境影響評価書（アーチェリー会場（夢の島公園））											5,6,8	11,1					
12		実施段階環境影響評価書（オリンピックアクアティクスセンター）											5,6,8	11,1					
昆虫類		1	平成30年度 江東区緑視率等調査 報告書								8,10								
		3	河川水辺の国勢調査（水系別調査結果）															●	
		5	海の森に生息する生きもの									●							
		6	実施段階環境影響評価書（有明アリーナ）											5,6,8,10	11				
		8	実施段階環境影響評価書（有明テニスの森）										5	8,10					
	9	実施段階環境影響評価書（海の森クロスカントリーコース）													5,8,10				
	10	実施段階環境影響評価書（海の森水上競技場）											5,6,8,10	11					
	11	実施段階環境影響評価書（アーチェリー会場（夢の島公園））											5,6,8,10	11					
	12	実施段階環境影響評価書（オリンピックアクアティクスセンター）											5,6,8,10	11					
	13	デジタル版野生物目録 東京いきもの台帳		●									●						
	クモ類	3	河川水辺の国勢調査（水系別調査結果）															●	
		5	海の森に生息する生きもの									●							
		6	実施段階環境影響評価書（有明アリーナ）											5,6,8,10	11				
8		実施段階環境影響評価書（有明テニスの森）											5	8,10					
9		実施段階環境影響評価書（海の森クロスカントリーコース）													5,8,10				
10		実施段階環境影響評価書（海の森水上競技場）											5,6,8,10	11					
11		実施段階環境影響評価書（アーチェリー会場（夢の島公園））											5,6,8,10	11					
12		実施段階環境影響評価書（オリンピックアクアティクスセンター）											5,6,8,10	11					
魚類		3	河川水辺の国勢調査（水系別調査結果）						●										
		10	実施段階環境影響評価書（海の森水上競技場）											5,8	11,1				
		14	河川水辺の国勢調査（河川環境データベース）										●						
		底生動物 付着動物	3	河川水辺の国勢調査（水系別調査結果）											●				
4	水生生物調査結果報告書（東京都内湾）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
5	海の森に生息する生きもの												●						
10	実施段階環境影響評価書（海の森水上競技場）												5,8	11,1					
14	河川水辺の国勢調査（河川環境データベース）												●						

※1) セル内の数字は調査月、●は調査有り（調査月が不明の場合）を示す。※2) No. 13は専門家による再同定がされた記録のみを整理対象とした。※3) No. 6及びNo. 7は同一の調査地点・調査結果が掲載されているため、No. 7を省略した。※4) No. 16は釣果情報であり調査年はない。

(4) その他データ

1) 収集データ

江東区で活動している民間団体、事業者、教育・研究機関の皆様にご協力いただき、各団体が行っている生物調査のデータを整理しました。

表 4-17 民間調査データの収集結果

No.	分類	団体名	主な活動場所
1	民間団体	NPO 法人 ネイチャーリーダー江東	区立公園等ポケットエコスペース (3箇所)、新砂貯木場等 (区内全域)
2	民間団体	江東ビオトープネットワーク	区立公園等ポケットエコスペース (9箇所) 等
3	民間団体	江東エコリーダーの会	新砂干潟 等
4	民間団体等	深川海さくら・KOKOPELLI+・東京都公園協会	越中島公園ビオトープ
5	民間団体・事業者	東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会・株式会社竹中工務店・株式会社水辺総研	東陽・新砂地区 (汐浜運河等)
6	教育・研究機関	武蔵野大学工学部 サステナビリティ学科 (環境システム学科)	有明キャンパスビオトープ
7	事業者	清水建設株式会社	再生の杜・NOVARE
8	事業者	株式会社フジクラ	木場千年の森

(5) 調査結果データのまとめ

現地調査結果および文献調査結果を集計し、生きもの分類群ごとに確認種リストとして、巻末に整理しました。

5 エコロジカルネットワークの評価手法(dIIC)と評価結果の詳細

(1)背景

江東区には、公園等のまとまった緑地や運河をはじめとする水辺等の様々な環境が存在しており、多くの生きものの棲みかとなる場所があります。生きものは、そのような場所どうしを移動することで、食べ物を見つけたり、こどもを育てる場所を探したりします。そのため、生物多様性を守るためには、棲みかどうしがつながってできあがるエコロジカルネットワークを考えることが重要です。そこで、江東区を特徴づける5つの生態系タイプ（本編参照）を基準に、生きものの棲みかとなる5種類の場所（樹林、草地、河川、建築物およびビオトープ）を対象に、ネットワークの質について分析および評価を行いました。

江東区における生きものの生息・生育環境の区分（表 5-1）、人の利用空間の区分（表 5-2）、これらを組み合わせた江東区における生物多様性の環境要素のマトリクス、及び生態系タイプ（表 5-3）、生態系タイプの概要及び代表的な施設・場所（表 5-4）は、本編の第2章3節 第1の危機【視点⑤】に示すとおりですが、本資料編にも再掲します。

なお、人の利用空間の区分（表 5-2）には、代表的な施設・場所を示します。

表 5-1 江東区における生きものの生息・生育環境の区分

環境の区分	概要
①樹林地	主に高木～低木等の樹木等がまとまって生育している陸域環境
②草地	主に一年生～多年生の草花等がまとまって生育している陸域環境
③自然裸地	砂浜や砂礫等で構成され、植生がない、あるいはまばらな陸域環境
④湿地・池	湿地や池等の陸上に造成された水域環境
⑤河川・運河	区内部の河川や運河、大荒川の荒川、隅田川等の水域環境
⑥干潟・ヨシ原	主に砂泥質の浅場や抽水植物で構成され、隣接する海域等を含む水辺環境
⑦磯・護岸	主に磯やブロックで構成され、隣接する海域等を含む水辺環境
⑧人工裸地	コンテナヤードや道路空間等、ある程度のまとまりをもった人工的に造成された植生のない陸域環境
⑨建築物	建築物や土木構造物等の人工的につくられた構造物全般の環境

表 5-2 江東区における人の利用空間の区分

利用空間の区分	概要	代表的な施設・場所	
公共	A 都立公園・区立公園・児童遊園	東京都及び江東区が管理・運営する都立公園・区立公園・児童遊園。総合公園のほか庭園、緑地も含む。水辺空間を兼ね備えた公園やポケットエコスペースを兼ね備えた公園もある。	都立猿江恩賜公園、都立木場公園、都立亀戸中央公園、都立清澄庭園、都立海の森公園、若洲公園、南砂緑道公園、仙台堀川公園、横十間川親水公園、旧中川水辺公園、越中島公園、荒川・砂町水辺公園 等
	B 区民農園	江東区が整備・管理し、区民向けに貸し出している農園である。	辰巳区民農園、城東区民農園、夢の島区民農園
	C 公共施設空間	区役所や図書館、鉄塔等、公的機関が所有・管理している施設やその周辺の空間であり、屋上・壁面緑化の空間も含む。えこつくる江東ではポケットエコスペースも整備されている。	江東区役所、東京都砂町水再生センター、環境学習情報館えこつくる江東 等
	D 小学校・幼稚園敷地空間	江東区が管理する小学校や幼稚園の校舎や運動場等の敷地の空間であり、ポケットエコスペースを兼ねた箇所もある。	亀高小学校、香取小学校 等
	E 道路空間	江東区や東京都、国が管理する道路空間であり、それに付随する街路樹や環境施設帯も含まれる。	特別区道江 346 号線、特別区道江 496 号線 等
	F 河川空間	国が管理する一級河川、東京都が管理する二級河川、江東区が管理する普通河川等において、水面や水際のエコトーン（だんだんと環境が移り変わる場所）、河川敷を含む河川空間である。	荒川、隅田川、小名木川、旧中川、仙台堀川、横十間川、大横川、北十間川、新砂干潟 等
	G 湾岸空間	東京湾に面した埋立地の海岸線、海に面した沿岸部である。	各運河沿いの道（潮風の散歩道）、海域に面した公園（都立海の森公園、都立若洲海浜公園、都立水の広場公園 等） 等
	H コミュニティガーデン	行政主導ではなく区民が自主的に集まり、管理・運営する「地域の庭」であり、花を育てる空間である。	各コミュニティガーデン
民間	I 社寺林	神社仏閣が所有する森林のことで、古くから保護され、改変の履歴が少ない空間であり、歴史・文化的にも価値のある空間である。	富岡八幡宮、亀戸天神社 等
	J 企業敷地空間	事業者が所有または使用する敷地であり、工場や建物等の建築物、屋上・壁面緑化、敷地内の緑地やビオトープ等の空間も含む。	再生の杜（清水建設(株)）、NOVARE（清水建設(株)）、木場千年の森（(株)フジクラ）、佐川東京ロジスティックスセンター 等
	K 高校・大学・専門学校敷地空間	高校や大学、専門学校が所有または使用する敷地であり、校舎等の建築物、屋上・壁面緑化、敷地内の緑地やビオトープ等の空間も含む。	武蔵野大学 有明キャンパス、東京海洋大学 越中島キャンパス 等
	L 集合住宅敷地空間	団地やマンション等の建築物、バルコニー等の緑化、敷地内の緑地空間を含む。	ロイヤルパーク豊洲、プレミスト有明ガーデン、アーバンドックパークシティ豊洲、東京ワンダフルプロジェクト 等
	M 個人住宅敷地空間	戸建て住宅の建築物、バルコニー等の緑化、敷地内の庭等の緑地空間を含む。	各戸

表 5-3 江東区における生物多様性の環境要素のマトリクス、及び生態系タイプ

		生きものの生息・生育環境の区分								
		① 樹林地 ア	② 草地 イ	③ 自然裸地	④ 湿地・池	⑤ 河川・運河 ウ	⑥ 干潟・ヨシ原	⑦ 磯・護岸	⑧ 人工裸地	⑨ 建築物 エ
人の利用・関わりに関する区分	公共	A 都立公園・区立公園・児童遊園 オ	●	●		●				
		B 区民農園	●	●						●
		C 公共施設空間 オ	●	●		●				●
		D 小学校・幼稚園敷地空間	●	●		●				●
		E 道路空間	●	●						●
		F 河川空間		●	●		●	●		
		G 湾岸空間		●				●	●	
	民間	H コミュニティガーデン		●						
		I 社寺林	●	●						
		J 企業敷地空間 オ	●	●		●				●
		K 高校・大学・専門学校敷地空間	●	●		●				●
		L 集合住宅敷地空間	●	●		●				●
		M 個人住宅敷地空間	●	●		●				●

表 5-4 生態系タイプの概要及び代表的な施設・場所

生態系タイプ	概要	代表的な施設・場所
ア 都市樹林地 生態系タイプ	公園や街路樹等、植樹由来の都市緑地の生態系タイプ。 都立公園等の大規模なものから街路樹等の小型のものもあります。緑地の少ないエリアではネットワークのつながりも必要です。	都立猿江恩賜公園、都立木場公園、都立海の森公園、都立辰巳の森緑道公園、若洲公園、南砂緑道公園、富岡八幡宮、北砂五丁目団地等
イ 草地・自然裸地 生態系タイプ	公園等に植えられた芝生環境等を含む草地・自然裸地の生態系タイプ。 まとまった自然由来の草地や自然裸地は一部の地域に限られているため、特に保全や創出が必要です。	荒川河川敷、都立海の森公園、都立東京臨海広域防災公園、水の広場公園等
ウ 水辺生態系タイプ	江東区の大きな特徴の一つである水辺を対象とした生態系タイプ。 江東区には、湿地や区内部の河川等の多様な水辺があり、これらを維持するとともに、干潟やヨシ原は非常に少ないため、特に保全や創出が必要です。	都立若洲海浜公園人工磯、都立清澄庭園、仙台堀川公園、旧中川水辺公園、新砂干潟、荒川・隅田川・小名木川等
エ 都市・住宅地型 生態系タイプ	建築物を利用するチョウゲンボウやカラス、ウミネコ等の都市適応型の野鳥等が見られるような都市型の生態系タイプ。 外来種管理等の付き合い方も必要です。	江東区役所等の公共施設・民間施設、建築物の屋上緑地等
オ 自然再生・教育利用型 生態系タイプ	①～④のうち、環境教育にも使われるようなポケットエコスペースや企業緑地のビオトープ等、自然再生を目的に創出され維持管理される生態系タイプ。 更なる整備や持続的な維持管理等が必要です。	各小学校・幼稚園ポケットエコスペース、再生の杜、木場千年の森、武蔵野大学等

江東区では、グループ分けした5つの生態系タイプ（生きものの棲かの種類）が、区内のどこに分布していて、それぞれがどのようにつながっているかを調べるために、「エコロジカルネットワーク」の分析を行いました。

生きものは、棲かの間を移動することで、食べ物を見つけたり、こどもを育てる場所を探したりします。そのため、つながりが強い場所（つまり、エコロジカルネットワークの中で大切な場所）には、生きものが集まりやすくなります。こうした場所を守ることで、生物多様性を効果的に保つことにつながります。

なお、分析には次のような指標（調べるための基準）を使っています。

ア	都市樹林地生態系タイプ	：樹林地に着目
イ	草地・自然裸地生態系タイプ	：草地に着目
ウ	水辺生態系タイプ	：河川に着目
エ	都市・住宅地型生態系タイプ	：建築物の分布に着目
オ	自然再生・教育利用型生態系タイプ	：ポケットエコスペースに着目

(2)解析手法

分析は、「場所の良さ（例えば、面積）」及び「場所と場所のつながり（例えば、場所どうしの距離）」の両方を考慮したうえでネットワークの質を定量的に評価できる dIIC（delta Integral Index of Connectivity）という指標を採用しました。この指標は、数学的な理論（グラフ理論）に基づくもので、それぞれの場所がネットワークを形成するのにどのくらい重要かを数値で表すことができる指標です。言い換えると、ある生きものが暮らしていくうえで、どれだけその場所を利用する（通過する、滞在する）可能性があるかが分かります。

この指標では、棲みかとなる場所の面積を円（ノード）の大きさ、場所どうしのつながりの有無を線（リンク）に当てはめることで、ネットワークの形をとらえます（図 5-1 上段）。場所どうしのつながりの有無は、対象とする生きものの移動できる距離によって設定しました。また、河川の場合は、合流点から合流点の間（セグメント）を1つの棲みかとし、面積をセグメントの長さ、つながりの有無を横断工作物（堰堤等のつながりを遮断するもの）の有無としました（図 5-1 下段）。

IIC および dIIC の計算式を数式 1 に示します。IIC は、ネットワーク全体に対する質の高さを示しており、dIIC はその全体のネットワークから任意の場所を取り除いたときの IIC 値の減少率を示しています。

ネットワークの分析イメージは図 5-2 に示す通りです。

数式 1 IIC/dIIC

$$IIC = \frac{\sum_{i=1}^n \sum_{j=1}^n \frac{a_i \times a_j}{1 + nl_{ij}}}{A_L^2}$$

$$dIIC_k = \frac{IIC - IIC_{remove,k}}{IIC} \times 100$$

a_i, a_j : 場所*i*と場所*j*の面積

A_L : 対象地域の棲みかとなる場所の合計面積

nl_{ij} : 場所*i*と場所*j*の間の距離

$IIC_{remove,k}$: 場所*k*がネットワークから消失した際に計算される IIC 値

$dIIC_k$: 場所*k*が消失した際の IIC 値の減少率

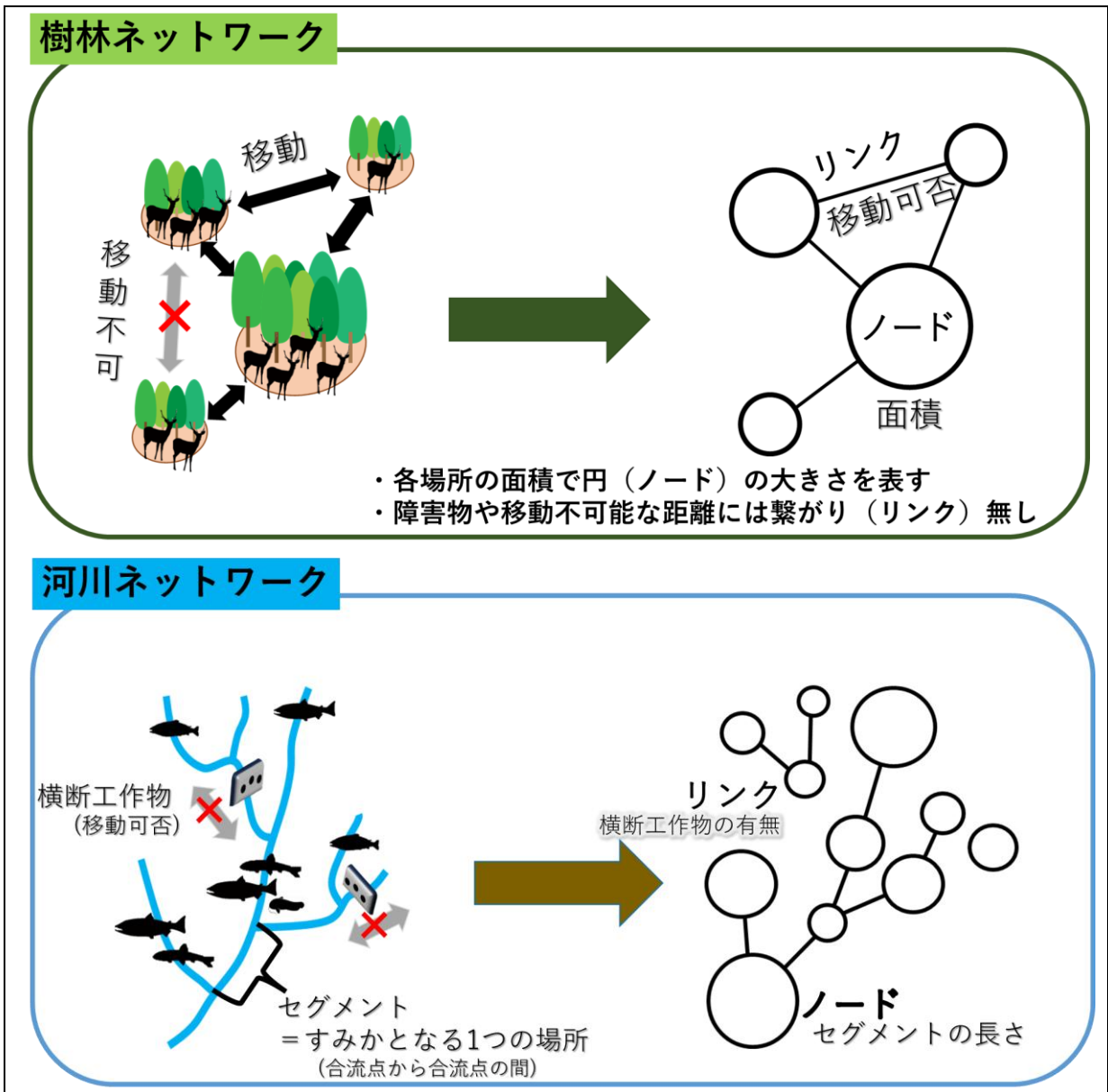


図 5-1 グラフ理論に基づく生息地ネットワークの考え方

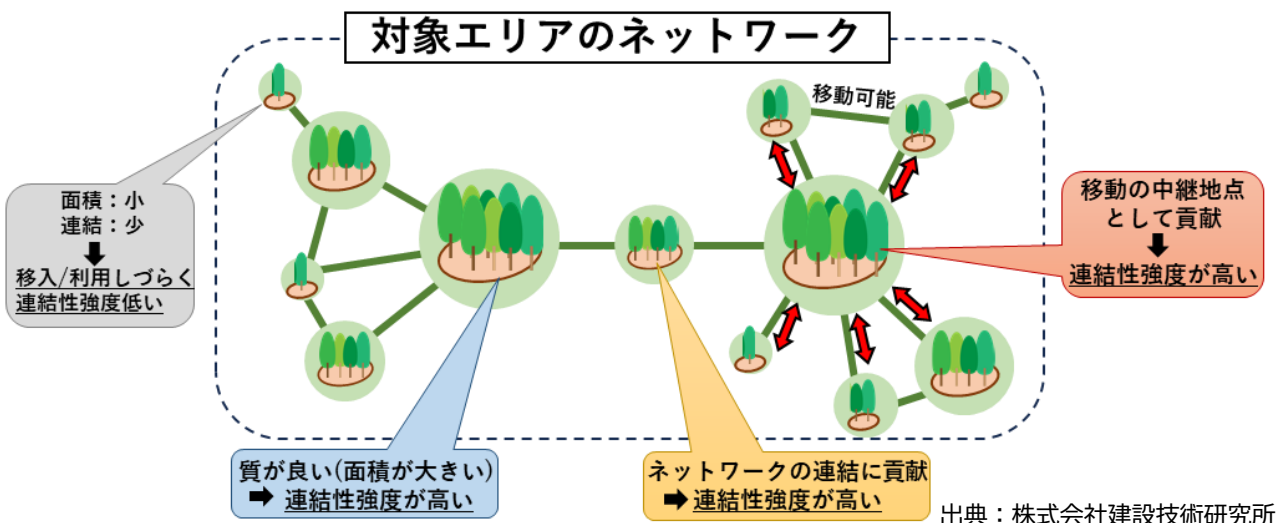


図 5-2 ネットワーク解析のイメージ

(3)解析対象

江東区には、エコロジカルネットワークの評価は、江東区内の生きものにとって重要な棲みかとなっている樹林、河川、建築物、およびビオトープを対象としました（参考：生態系タイプ 本編参照）。建築物については、都市化が進んでいる江東区の大半の面積を占めており（水域を含む江東区の全体面積に対し、約75%が人工物）、分断が生じていないため、ネットワーク解析は行わないこととしました。

解析における条件や使用したデータについては、以下の通りです。

表 5-5 対象のネットワークと条件

棲みかとなる場所	要素	対象生物	つながりの基準	使用データ	備考
樹林	樹林	小型鳥類 (コゲラ等)	移動距離 500m	・緑被データ (江東区みどりの実態調査報告書(令和5年3月))	・0.2ha(=2000m ²)以下の樹林は棲みかとして適さないと判断し、分析対象から除外した。
草地	草地	バッタ類	移動距離 100m	・緑被データ (江東区みどりの実態調査報告書(令和5年3月))	・0.0025ha(=25m ²)以下の草地は生息に不適と判断し解析対象から除外した。
河川	河川及び水路	水の生きもの	横断工作物の有無	・国土数値情報 河川ラインデータ (不足流路の追加)	・セグメントの長さはばらつきが大きいことから、差を軽減するために対数変換して計算した。 ・本分析では、江東区内およびその周囲を流れる河川を対象とした。
建築物	各施設(官公庁、教育文化、厚生医療等)、道路、鉄道、港湾等	都市に 適応した 生きもの (カラス等)	—	・土地利用現況図 (東京の土地利用 令和3年東京都区部、都市計画基礎調査に関する調査業務委託調査実施マニュアル(令和3年3月改定))	・都市化により、分断が生じていないことから、ネットワーク解析は行わないこととした。
淡水池	ポケットエコスペース(PES)、都立・区立公園の池、民間ビオトープ、その他ビオトープ	トンボ類	移動距離 1000m	・各淡水池の位置情報	・面積データが存在しないため、各池の重心間の距離のみに着目することとし、面積は全て等しいと仮定した。 ・民間ビオトープは、2025年時点で自然環境に関わる認証制度を取得済みの「再生の杜」(NOVARE)(清水建設(株))、「木場千年の森」((株)フジクラ)を対象とした。 ・その他ビオトープは、砂町水再生センターとした。

(4) 評価結果

ネットワーク解析による分析の結果は以下の通りです。樹林ネットワークや淡水池ネットワークは水色の円が大きい場所ほど、草地ネットワークや河川ネットワークは色が濃い場所ほど、ネットワークを構成するうえで重要（生きものが移動や生息に利用する可能性が高い）な場所と言えます。

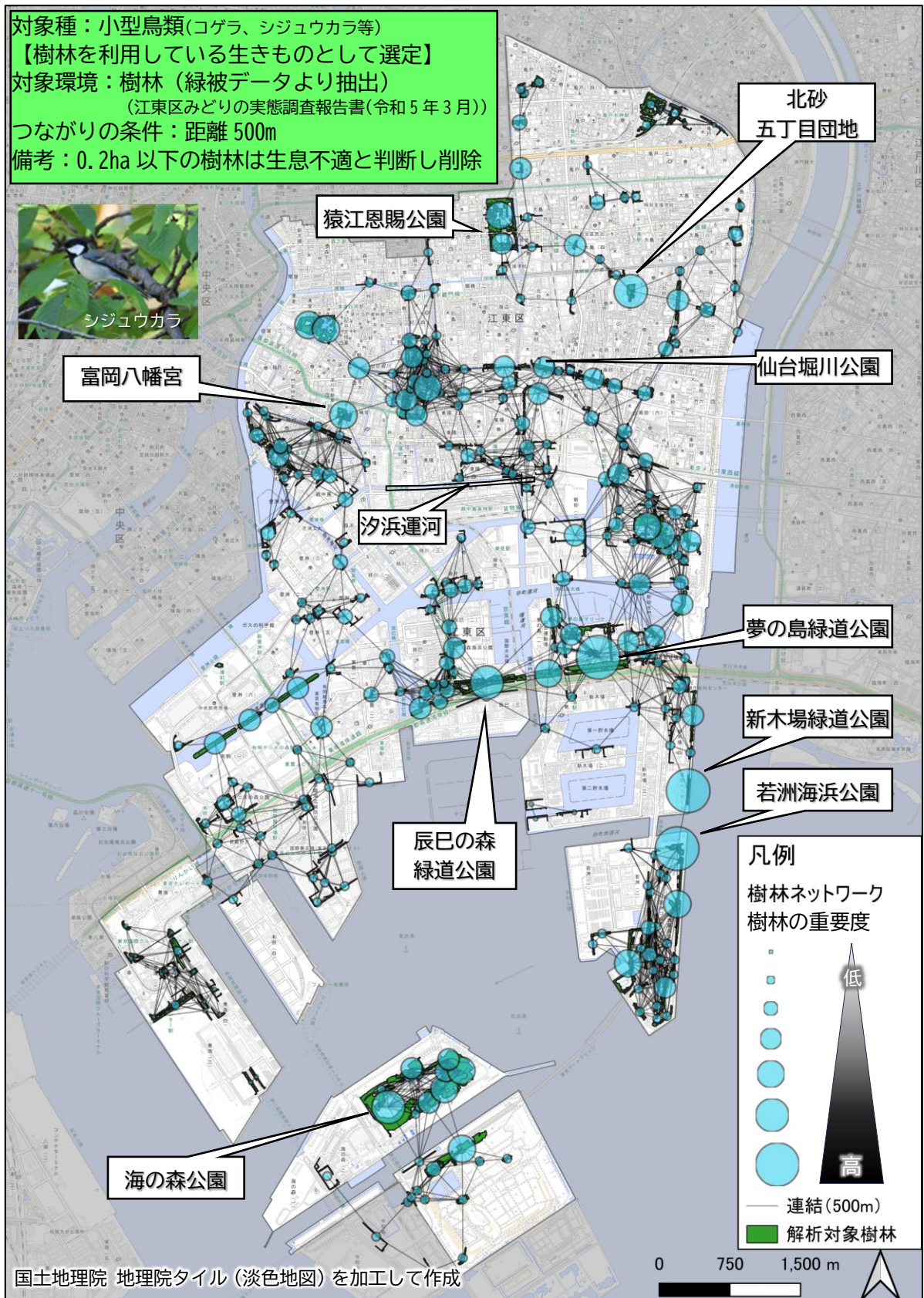


図 5-3 樹林ネットワークの分析結果

(●は樹林ネットワークにおける各樹林の重要度(dIIC)の高さ、—は樹林間の連結、■は樹林を示します。)

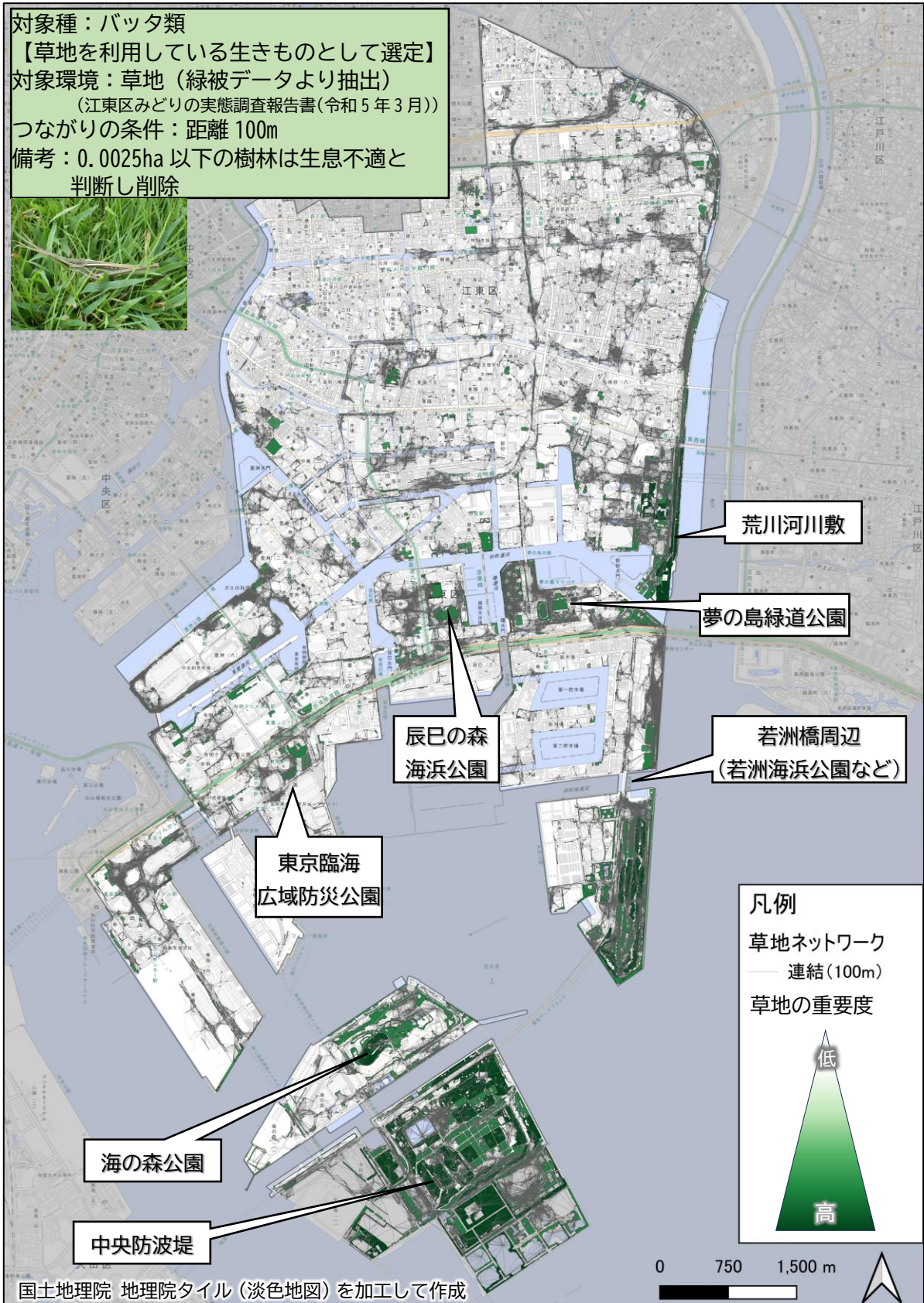


図 5-4 草地ネットワークの分析結果

(■～■は草地、色の濃淡は草地ネットワークにおける重要度(dIIC)の高さ、-は草地間の連結を示します。)

対象種：水生生物（魚類や底生動物）
 【河川を利用している生きものとして選定】
 対象環境：江東区内及び周辺の河川
 （国土数値情報 河川ラインを加工）
 つながりの条件：分断の有無



国土地理院 地理院タイル（淡色地図）を加工して作成

図 5-5 河川ネットワークの分析結果
 （ ～ ～ は河川、色の濃淡は河川ネットワークにおける各区間の重要性(dIIC)を示します。）

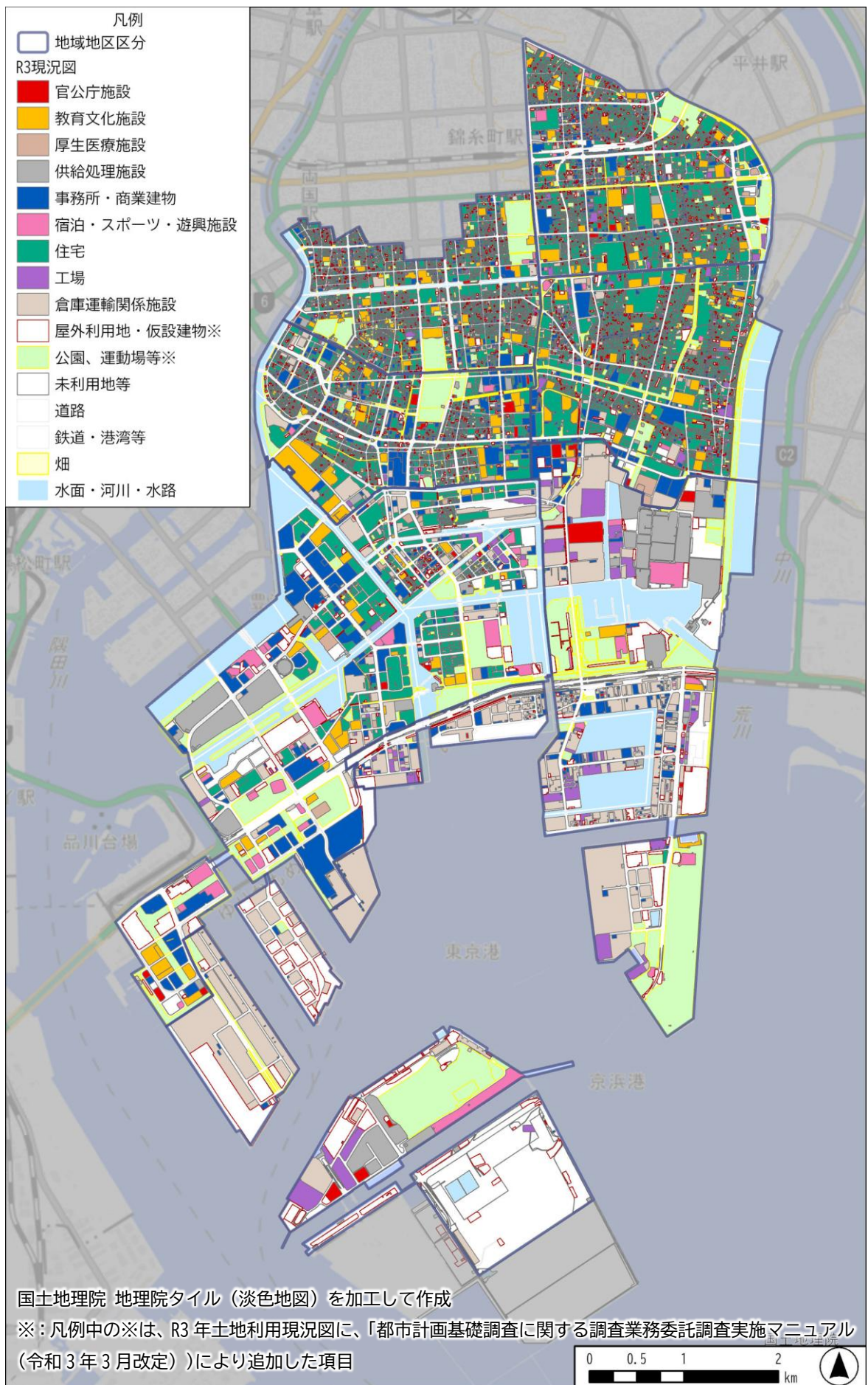


図 5-6 土地利用現況図における建築物の分布状況

対象種：トンボ類
 【淡水の池を利用している生きものとして選定】
 対象環境：淡水池
 つながりの条件：移動距離 1,000m
 備考：面積情報が存在しないため、各池の重心間の距離のみに着目することとし、面積は全て等しいと仮定

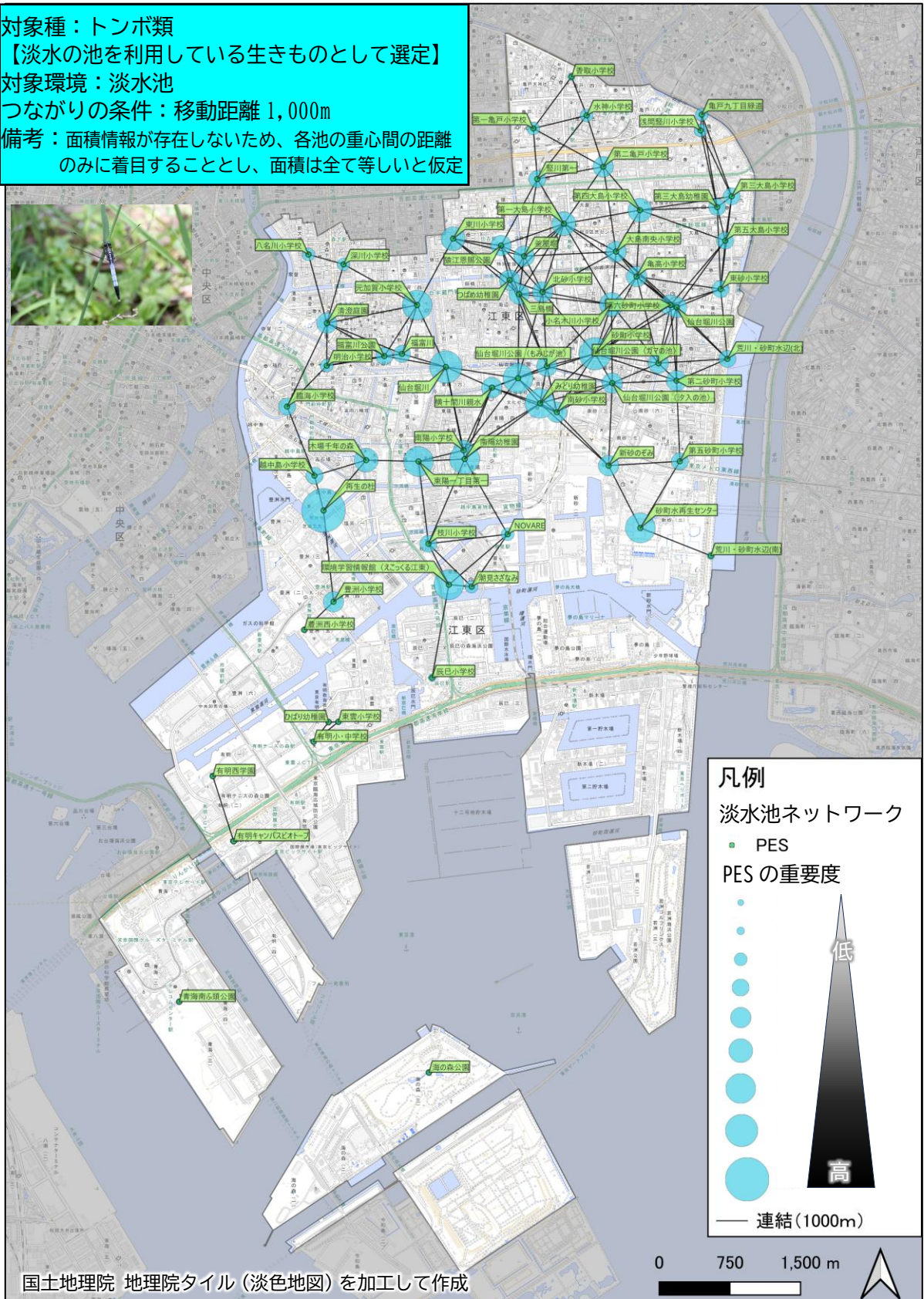


図 5-7 淡水池ネットワークの分析結果

(●は淡水池ネットワークにおける重要度(dIIC)の高さ、中心点は池位置、-は池間の連結を示します。)

6 用語解説

表 6-1 用語集 (1/2)

No.	用語	解説
1	エコロジカルネットワーク	生きものの移動や生息・生育を支える自然環境のつながりのこと。生物多様性の保全に重要な考え方として知られる。
2	江戸東京野菜	江戸期から東京で栽培されてきた伝統野菜。地域文化や食の多様性を象徴する。
3	NbS	自然の力を活用して社会課題を解決する手法。気候変動や災害対策に有効。
4	OECM	保護地域以外で生物多様性保全に効果的な区域。国際的な目標「30by30」を目指す。
5	外来生物	他地域から人間活動によって持ち込まれた生きもの。本来の生態系に悪影響を及ぼすことがある。
6	外来生物法	外来生物による生態系への被害を防ぐための法律。輸入・飼育・放出を規制している。
7	気候変動	地球規模での気温や天候の変化。人間による経済活動等が原因とされ、環境や社会に影響を及ぼす。
8	グリーンインフラ	自然環境の機能、魅力を活用して、災害防止や環境保全、地域振興等を図る社会基盤のこと。持続可能な街づくりへの貢献が期待できるため、近年国や自治体で取組が拡大している。
9	グリーン購入	環境への負荷が少ない製品やサービスを優先的に選び、購入する取組。
10	在来種	その地域に元々生息・生育している動植物。生態系の維持に重要な役割を持つ。
11	重要種	生態系のバランス維持に欠かせない種。絶滅や減少が他種に大きく影響する。
12	生態系	生きものと環境が相互に関わり合う自然の仕組みのこと。
13	生態系サービス	自然環境が人間にもたらす恵み。その性質から、基盤サービス・調整サービス・供給サービス・文化的サービスに分類される。まれる。
14	生物多様性	生きものの種類や遺伝子、生態系の多様さを指す。
15	生物多様性国家戦略	日本政府が策定する、生物多様性保全のための基本方針と行動計画。

表 6-1 用語集 (2/2)

No.	用語	解説
16	生物多様性条約	1992年に国連環境開発会議（地球サミット）に合わせて採択された生物多様性の保全と持続可能な利用を目的とした国際条約。
17	TNFD	企業の自然資本への影響と依存を開示する枠組み。企業の自然環境に対するリスク管理を促進。
18	ディスサービス	生態系が人間に与える負の影響。害虫被害や行厳禁媒介等が該当する。
19	底生動物	水中の水底に生息する動物で、昆虫類や甲殻類や貝類等が含まれる。水質や生態系の健全性を示す指標にもなる。
20	テレカップリング	遠隔地間の人間活動が生態系に影響を与える関係性のこと。
21	特定外来生物	生態系や人の生活に特に重大な悪影響を及ぼす外来生物。法律で規制対象となっている。
22	ネイチャーポジティブ	自然環境の損失を止め、回復へと転じる考え方。生物多様性の再興を目指す。
23	ヒートアイランド現象	都市部の気温が周辺の郊外より高くなる現象。緑地減少や人工排熱が原因とされる。
24	ポケットエコスペース	江東区で使われている、「ビオトープ」の親しみやすい呼び方のこと。比較的小さな面積の自然地を指し、小学校等に区内に52箇所ある。
25	保全	自然環境や生きものを守り、持続可能な状態に維持すること。人間がある程度手を入れながら管理していくことを指す。
26	緑化率	建物の敷地面積に対する緑化施設の割合のこと。都市環境の快適性や生態系保全に関係する。

7 引用・参考文献一覧

- ・ Hui-Ling QiuXie, Gang-Long Zhou, Shi-Fu Zhu, Tianyu Zhao, Joachim Heinrich, Michael S. Bloom, Wen-Zhong Huang, Sam S.S. Lau, Yi-Dan Zhang, Jia-Xin Li, Lu Wang, Xiao-Qi Zhu, Jian-Cheng Jiang, Shao Lin, Xiao-Guang Zou, Li Li, Guang-Hui Dong, Shu-Yu-Ting. (2025年10月). Greenspace mitigates the global disease and economic burdens of non-communicable diseases.
- ・ IPBES. (2020年3月). 生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書 政策決定者向け要約.
- ・ KOKOPELLI+. (2023年). 2023年度 隅田川テラス (越中島ビオトープ) 自然環境調査 調査・作業レポート.
- ・ Koto 旧中川水彩パーク JV. 旧中川に住んでいる生き物について学ぼう「ハゼ釣りに挑戦!」. 参照先: 江東旧中川水彩パークウェブサイト:
<https://koto-suisaipark.jp/event/chiiki/entry-638.html>
- ・ Lucía Pascual-Hortal, Santiago Saura. (2006年). Comparison and development of new graph-based landscape connectivity indices: towards the prioritization of habitat patches and corridors for conservation.
- ・ NEC ソリューションイノベータ株式会社. (2024年9月30日). チャリティハーブガーデン活動が全国花のまちづくりコンクール「優秀賞」を受賞. 参照先: NEC ソリューションイノベータ株式会社ウェブサイト: <https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/topics/20240930/index.html>
- ・ NEC ソリューションイノベータ株式会社. (2025年1月). チャリティハーブガーデン活動における生物多様性の取り組み関連資料 (抜粋版).
- ・ NPO 法人ネイチャーリーダー江東. (2006年~2023年). 年末水鳥調査 集計表.
- ・ NPO 法人ネイチャーリーダー江東. (2017年). ポケットエコスペース植物目録 (2017) 仙台堀川公園 PES、荒川砂村 PES、荒川下流 PES.
- ・ NPO 法人ネイチャーリーダー江東. (2021年6月). 新砂貯木場の鳥類調査報告 (2014年10月~2017年5月).
- ・ NPO 法人ネイチャーリーダー江東. (2022年~2024年). 植物調査 (フロラ) 記録 (仙台堀川公園 PES、荒川砂村 PES、荒川下流 PES、).
- ・ NPO 法人ネイチャーリーダー江東. NPO 法人ネイチャーリーダー江東. 参照先: NPO 法人ネイチャーリーダー江東ウェブサイト: <https://nlkoto.org/>
- ・ NPO 法人マザーツリー自然学校. NPO 法人マザーツリー自然学校. 参照先: NPO 法人マザーツリー自然学校ウェブサイト: <https://npo-mothertree.com/>
- ・ Saura Santiago, Rubio Lidón. (2010年). A common currency for the different ways in which patches and links can contribute to habitat availability and connectivity in the landscape.
- ・ Tibor Erős, Dénes Schmera, Robert S. Schick. (2010年). Network thinking in riverscape conservation - A graph-based approach.
- ・ TNFD. . What is the TNFD? 参照先: TNFD ウェブサイト: <https://tnfd.global/>
- ・ アメニス東部地区グループ. 猿江恩賜公園. 参照先: TOKYO EAST PARK:
<https://tokyo-eastpark.com/parksearch/sarueonshi>
- ・ アメニス東部地区グループ. 大島小松川公園. 参照先: TOKYO EAST PARK:
<https://tokyo-eastpark.com/parksearch/ohjima>
- ・ こうとうビオトープネットワーク. (2021年~2023年). ポケットエコスペース環境保全活動 年間報告書 (2021年度~2023年度): 9箇所.
- ・ ネイチャーリーダー協議会. (2003年8月). PES (ポケットエコスペース) 昆虫類の生息状況調査報告書.
- ・ 阿河真人, 清田秀雄, 松本博光. (2015年). 研修を用いた植生管理計画策定と外来種管理.
- ・ 阿河真人, 清田秀雄. (2022年). ビオトープ生態系保全計画書に基づく順応的管理の実践と評価.
- ・ 伊尾木慶子, 田邊雄素, 岡田和子, 早貸秀樹, 川島賢治, 門多真理子. (2024年). 東京臨海部の生物

多様性に配慮した都市緑化における鳥類による種子散布の把握の試みーDNA メタバーコーディング委託による食性解析ー。

- ・ 一般社団法人 江東区観光協会. 江東花めぐり. 参照先: 江東おでかけ情報局:
<https://koto-kanko.jp/flower/>
- ・ 一般社団法人 江東区観光協会. 深川めし. 参照先: 江東おでかけ情報局:
<https://koto-kanko.jp/fukagawameshi/>
- ・ 一般社団法人江東区観光協会. 江東の魅力. 参照先: 江東おでかけ情報局:
<https://koto-kanko.jp/special/>
- ・ 一般社団法人いきもの共生事業推進協議会. 認証事業所. 参照先: ABINC:
https://www3.abinc.or.jp/abinc_db.php
- ・ 印旛沼流域水循環健全化会議. 印旛沼の今むかし 生態系の変化. 参照先: いんばぬま情報広場:
<https://inba-numa.com/what/right-now-in-tokonuma/setaikeihenka/>
- ・ 岡村知忠, 田中ゆう子, 岩本裕之, 鈴木秀男, 中瀬浩太. (2003年7月). 湾奥における生物と共生する護岸の開発.
- ・ 株式会社 日比谷アメニス. レインガーデン 大島小松川公園. 参照先: 株式会社 日比谷アメニス
ウェブサイト: <https://www.amenis.biz/works/work02/>
- ・ 株式会社 IKUSA. バイオミクリーとは?ものづくりの例 9 選を紹介. 参照先: SDGsCOMPASS:
<https://sdgs-compass.jp/column/7907>
- ・ 株式会社フジクラ. ビオガーデン「フジクラ木場千年の森」における動植物調査.
- ・ 株式会社ポリテック・エイディディ/清水建設株式会社. (2024年2月). 潮見プロジェクト 生物モニタリング調査 (R6年度) 報告書.
- ・ 株式会社竹中工務店/株式会社水辺総研. (2023年11月). グリーンインフラ活用型都市構築支援事業その①報告書.
- ・ 環境省. (2011年3月). 海洋生物多様性保全戦略.
- ・ 環境省. (2017年3月). 環境省版海洋生物レッドリスト.
- ・ 環境省. (2020年3月). 環境省レッドリスト 2020.
- ・ 環境省. (2024年5月). 第六次環境基本計画.
- ・ 環境省. (2025年3月). 環境省第5次レッドデータブック: 絶滅のおそれのある日本の野生生物.
- ・ 環境省. (2025年3月). 環境省第5次レッドリスト (植物・菌類).
- ・ 環境省. ヒアリ (*Solenopsis invicta*) の国内初確認について. 参照先: 環境省ウェブサイト:
<https://www.env.go.jp/press/104185.html>
- ・ 環境省. 希少な野生動植物種の保全. 参照先: 環境省ウェブサイト:
<https://www.env.go.jp/nature/kisho/index.html>
- ・ 環境省. 自然を活用した解決策 (NbS: Nature-based Solutions). 参照先: 環境省:
<https://www.env.go.jp/nature/biodiversity/nbs.html>
- ・ 環境省 生物多様性及び生態系サービスの総合評価に関する検討会. (2021年3月). 生物多様性及び生態系サービスの総合評価 2021 政策決定者向け要約報告書.
- ・ 環境省. 日本の外来種対策. 参照先: 日本の外来種対策:
<https://www.env.go.jp/nature/intro/>
- ・ 環境省・農林水産省. (2015年3月). 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト (生態系被害防止外来種リスト).
- ・ 環境省・農林水産省・国土交通省. (2025年3月). 外来種被害防止行動計画 第2版.
- ・ 環境省自然環境局. (2023年3月). 昆明・モンリオール生物多様性枠組 (仮訳).
- ・ 環境省自然環境局. (2023年5月). 生物多様性地域戦略策定の手引き (令和5年度改訂版).
- ・ 環境省自然環境局. 生物多様性とは. 参照先: 生物多様性:
<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/index.html>
- ・ 環境省自然環境局. 生物多様性の観点から重要度の高い海域. 参照先: 環境省自然環境局ウェブサイト: <https://www.env.go.jp/nature/biodic/kaiyo-hozen/kaiiki/index.html>

- ・環境省自然環境局. 生物多様性の観点から重要度の高い湿地（略称「重要湿地」）. 参照先: 環境省自然環境局ウェブサイト:
https://www.env.go.jp/nature/important_wetland/index.html
- ・環境省生物多様性センター. モニタリングサイト 1000. 参照先: モニタリングサイト 1000:
<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>
- ・環境省大臣官房環境経済課. 環境ラベル等データベース. 参照先: 環境ラベル等データベース:
<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/>
- ・奇二正彦. (2023年5月). 地域のエコロジカルネットワークに貢献する園庭ビオトープ.
- ・亀戸天神社. 藤まつり. 参照先: 亀戸天神社ウェブサイト:
<https://kameidotenjin-sha.jp/events/%E8%97%A4%E3%81%BE%E3%81%A4%E3%82%8A/>
- ・橘大介, 薬師寺圭. (2012年2月). 大都市域に創出したビオトープが出現動物に与える影響と課題.
- ・後藤颯太, 赤坂卓美, 河口洋一. (2023年9月). 河川ネットワークを考慮した自然再生地の効果の検討: 魚類多様性をケーススタディとして.
- ・公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区芭蕉記念館. 江東区ゆかりの人 松尾芭蕉.
- ・公益財団法人江東区文化コミュニティ財団. 第8回川と緑の生きもの展～江東区の魚と昆虫大集合～. 参照先: 東大島文化センターウェブサイト:
<https://www.kcf.or.jp/higashiojima/event/detail/?id=8559>
- ・公益財団法人東京都公園協会. みんなでかいぼりー都立公園の池の水質改善・生態系回復を目指してー. 参照先: 公益財団法人東京都公園協会ウェブサイト: <https://www.tokyo-park.or.jp/special/biodiversity/kaibori/index.html>
- ・公益財団法人日本花の会. 全国花のまちづくりコンクール. 参照先: 全国花のまちづくりコンクールウェブサイト: <https://www.hananokai.or.jp/city/>
- ・公益財団法人日本生態系協会. JHEP 認証. 参照先: 公益財団法人日本生態系協会ウェブサイト:
<https://www.ecosys.or.jp/certification/jhep/>
- ・公益財団法人日本生態系協会. 全国学校・園庭ビオトープコンクール これまでの受賞校・受賞園. 参照先: 全国学校・園庭ビオトープコンクール:
https://biotopcon.org/biocon_awardwinner_list.htm
- ・公益財団法人日本野鳥の会. 第8回 マイクロプラスチック汚染の脅威1 “生態系汚染”. 参照先: 公益財団法人日本野鳥の会ウェブサイト:
<https://www.wbsj.org/activity/conservation/law/plastic-pollution/article/2021-05-06/>
- ・江東エコリーダーの会. (2016年). 10年の歩み 第3部 資料集・付録.
- ・江東エコリーダーの会. (2019年8月). 江東エコリーダー通信 14. 参照先: 江東エコリーダーの会ウェブサイト.
- ・江東区. (2019年3月). 平成30年度 江東区緑視率等調査 報告書.
- ・江東区. (2020年1月5日). 早わかり KOTO CITY. 参照先: 江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/skoto/kotocity.html>
- ・江東区. (2020年12月). 新砂二・三丁目地区まちづくり方針.
- ・江東区. (2022年). 令和3年経済センサス-活動調査.
- ・江東区. (2022年3月). 江東区都市計画マスタープラン 2022.
- ・江東区. (2023年2月24日). カラス対策. 参照先: 江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/380301/machizukuri/sekatsu/undo/7380.html>
- ・江東区. (2023年3月). 豊洲グリーン・エコアイランド構想施策支援業務委託（令和4年度）報告書.
- ・江東区. (2023年3月). 令和4年度 江東区みどりの実態調査 報告書.
- ・江東区. (2024年7月3日). クビアカツヤカミキリにご注意ください. 参照先: 江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/380303/kenko/kubiakatuyakamikiri.html>
- ・江東区. (2024年10月3日). セアカゴケグモにご注意ください. 参照先: 江東区ウェブサイト:
https://www.city.koto.lg.jp/260403/kurashi/seaka_gokegumo.html

- ・江東区。(2024年7月3日)。江東区みどりの基本計画推進会議部会。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470132/suishinnkagibukai.html>
- ・江東区。(2024年3月26日)。飼い主のいない猫の去勢・不妊手術費助成事業。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/260401/shuzutuhijosei.html>
- ・江東区。(2024年10月22日)。多摩産材の積極的な利用について。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470602/machizukuri/kasenkoen/genba/ojijabousai.html>
- ・江東区。(2024年11月)。江東区の環境白書～江東区環境基本計画 令和5年度実績報告～。
- ・江東区。(2024年3月)。ゼロカーボンシティ江東区実現プラン。
- ・江東区。(2025年10月17日)。(仮称)江東区公園マスタープラン策定について。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470600/kouenmasterplan.html>
- ・江東区。(2025年8月11日)。**【9/13開催】秋の虫さがし**。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://nlkoto.org/2025/08/11/%e3%80%909-13%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%80%91%e7%a7%8b%e3%81%ae%e8%99%ab%e3%81%95%e3%81%8c%e3%81%97/>
- ・江東区。(2025年2月20日)。ウミネコ被害防除に向けて。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/380301/machizukuri/sekatsu/undo/uminekohigai.html>
- ・江東区。(2025年9月11日)。エコリーダー養成講座2025(初級編)「持続可能ジモトアクション」。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/380291/ekokkuru/event/r7/10/ecoleader2025.html>
- ・江東区。(2025年4月14日)。コミュニティガーデン～みんなで楽しむ「地域のお庭」～。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470132/machizukuri/midori/shizen/7490.html>
- ・江東区。(2025年10月8日)。ハクビシン・アライグマによる被害を防ぐために。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/380303/hakubishin.html>
- ・江東区。(2025年2月12日)。ハクビシン・アライグマ対策事業について。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/380303/hakubishintaisaku.html>
- ・江東区。(2025年9月24日)。ポケットエコスペース。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470701/machizukuri/midori/shizen/7488.html>
- ・江東区。(2025年4月14日)。みどりのまちなみ緑化助成制度。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470132/machizukuri/midori/shizen/7496.html>
- ・江東区。(2025年8月4日)。河川水質調査。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/380303/machizukuri/sekatsu/suishitsuosen/7307.html>
- ・江東区。(2025年6月4日)。危険な外来生物「ヒアリ」について。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/380303/hiari.html>
- ・江東区。(2025年3月13日)。区民農園。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470701/machizukuri/midori/shizen/7501.html>
- ・江東区。(2025年7月1日)。江東区は、「CITY IN THE GREEN」へ!参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470132/machizukuri/midori/green/cig20.html>
- ・江東区。(2025年9月12日)。若洲公園整備事業(Park-PFI)。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470604/wakasu/main.html>
- ・江東区。(2025年9月22日)。食品ロス削減に向けた取り組み。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/381104/kurashi/gomi/5r/food.html>
- ・江東区。(2025年5月22日)。第18回江東区環境フェア。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/380291/machizukuri/kankyo/ekokkuru/kankyofair/kankyofair2025.html>
- ・江東区。(2025年2月14日)。田んぼの学校。参照先:江東区ウェブサイト:
<https://www.city.koto.lg.jp/470701/machizukuri/midori/shizen/tanbo/tanbosyuuryou.html>
- ・江東区。(2025年10月)。大島四丁目エリアまちづくり方針。
- ・江東区。(2025年3月)。江東区みどりの基本計画(後期)。
- ・江東区。(2025年3月)。江東区環境基本計画2025-2030。

- ・江東区. (2025年3月). 江東区健康増進計画(第三次)・江東区食育推進計画(第四次)・江東区がん対策推進計画(第三次).
- ・江東区. (2025年3月). 江東区長期計画(後期).
- ・江東区. (2025年3月). 令和6年度江東区長期計画区民アンケート調査報告書.
- ・江東区. (2025年7月). まちの記憶と未来展 浸水から親水への道のり.
- ・江東区. 江東区生物多様性に配慮した緑化ガイド.
- ・江東区. 江東区地域における動物の相談支援体制整備事業実施要綱. 参照先: 江東区ウェブサイト: https://www.city.koto.lg.jp/reiki-koho/reiki_honbun/g109RG00002499.html
- ・江東区環境清掃部. (2025年2月18日). 水鳥生息調査. 参照先: 江東区ウェブサイト: <https://www.city.koto.lg.jp/380303/machizukuri/sekatsu/suishitsuosen/7266.html>
- ・江東区中川船番所資料館. 特別展「江東の農業」関連講座. 参照先: 江東区中川船番所資料館ウェブサイト: <https://www.kcf.or.jp/nakagawa/koza/detail/?id=2095>
- ・江東区都市整備部. (2025年7月). 資料5 江東区内の大規模開発計画について.
- ・荒川の将来を考える協議会. (2025年7月). 荒川将来像計画 地区別計画【江東区】.
- ・国土交通省. (2004年3月). 人と自然との美しい共生 エコロジカル・ネットワーク.
- ・国土交通省. (2023年9月). グリーンインフラ推進戦略2023.
- ・国土交通省. グリーンインフラ官民連携プラットフォーム. 参照先: グリーンインフラ官民連携プラットフォーム: <https://gi-platform.com/>
- ・国土交通省. 国土数値情報ダウンロードサイト. 参照先: 国土数値情報ダウンロードサイト: <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>
- ・国土交通省河川局. 河川環境データベース. 参照先: 河川環境データベース: <https://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/index.html>
- ・国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所. (2011年10月). 荒川放水路変遷誌.
- ・国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所. 荒川 River-SKY-view. 参照先: 荒川知水資料館 amoa: <https://www.ara-amoa.com/%E5%86%99%E7%9C%9F%E9%9B%86/%E8%8D%92%E5%B7%9D%river-sky-view/>
- ・国土交通省国土技術政策総合研究所. エコトーン. 参照先: 河川用語集～川のことば～: https://www.nilim.go.jp/lab/rcg/newhp/yougo/words/003/html/003_main.html
- ・国土交通省国土地理院. 基盤地図情報サイト. 参照先: 国土交通省国土地理院ウェブサイト: <https://www.gsi.go.jp/kiban/>
- ・国土交通省国土地理院. 色別標高図. 参照先: 国土交通省国土地理院ウェブサイト: <https://maps.gsi.go.jp/help/intro/looklist/3-hyoko.html>
- ・国土交通省水管理・国土保全局. (2016年1月). 平成28年度版 河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル [河川版].
- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所. バイオミメティクスとは? 参照先: 産総研マガジン: https://www.aist.go.jp/aist_j/magazine/20241127.html
- ・国立国会図書館. 江東区. 参照先: 錦絵でたのしむ江戸の名所: <https://www.ndl.go.jp/landmarks/>
- ・国立国会図書館. 国立国会図書館デジタルコレクション. 参照先: 国立国会図書館デジタルコレクション: <https://dl.ndl.go.jp/>
- ・国立国会図書館. 梅園魚品図正 巻1. 参照先: 国立国会図書館デジタルコレクション: <https://dl.ndl.go.jp/pid/1287112/1/8>
- ・国立国会図書館. 百鳥図 3. 参照先: 国立国会図書館デジタルコレクション: <https://dl.ndl.go.jp/pid/1287228>
- ・佐藤龍平. 都市公園におけるヒキガエルの生態研究.
- ・山田順之, 島田知幸. (2007年). リモートセンシングとGISを利用した都市域におけるエコロジカルネットワークの評価手法に関する研究 コゲラを指標種として.
- ・子どもの水辺研究会. (2022年6月). 子どもが遊びを通じて自ら学ぶ水辺のプレイフルインフラ.

- ・寺山守, 富岡康浩, 木村悟朗, 谷川力. (2021 年). 本州港湾部で発見された外来アリの一種ナンヨウテンコクオオズアリ.
- ・手塚和恵, 島田正文, 柳井重人, 勝野武彦, 丸田頼一. (1998 年). 市街地の小学校敷地内におけるビオトープの整備に関する基礎的研究.
- ・深川海さくら. (2025 年 6 月 30 日). 越中島ビオトープ自然再生プロジェクト. 参照先: 深川海さくらウェブサイト: <http://fukagawa.umisakura.com/gomihiroi/>
- ・清水建設株式会社. (2021 年). 2021 年度 再生の杜モニタリング調査動植物リスト.
- ・清水建設株式会社. (2023 年 12 月 13 日). GX×NOVARE 資源循環・自然共生にむけた取り組み. 参照先: テクノアイ 清水建設の技術: <https://www.shimztechnonews.com/solution/case/2023-03.html>
- ・清水建設株式会社. (2023 年 11 月). 清水建設株式会社の取り組み. 雑誌「グリーン情報 (2023 年 11 月号)」.
- ・清田秀雄, 沖田堇 (NPO 法人ネイチャーリーダー江東). (2025 年 3 月). 渡邊瞭 (1981): 江東区南部の植物: 植物目録 (地域の過去文献に関する APG 分類による植物目録の作成; 3) .
- ・清田秀雄, 沖田堇 (NPO 法人ネイチャーリーダー江東). (2025 年 3 月). 南葛飾郡誌: 草野俊介 (1923): 自然的環境-植物 植物目録 (地域の過去文献に関する APG 分類による植物目録の作成; 1).
- ・清田秀雄, 沖田堇 (NPO 法人ネイチャーリーダー江東). (2025 年 3 月). 北東低地帯文化財総合調査報告 第 1 分冊 (地域の過去文献に関する APG 分類による植物目録の作成; 2) .
- ・生物多様性チーム江東. (2021 年 3 月). 「生物多様性“江東”プラン」生物多様性地域戦略 (江東区・市民案) .
- ・生物多様性チーム江東. (2024 年 9 月). 生物多様性フェア 2024 実施報告書.
- ・生物多様性のための 30by30 アライアンス事務局. 身近な自然も対象に「自然共生サイト」. 参照先: 30by30 ウェブサイト: <https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>
- ・西武造園株式会社. 海の森公園. 参照先: 海の森公園ウェブサイト: <https://uminoripark.com/>
- ・太田稔. (2024 年 3 月). 一般企業がネイチャーポジティブに取り組むための実務的検討 自然共生サイトの活動分類からの提案.
- ・大竹道茂. (2016 年). 東京の歴史文化を今に伝える江戸東京野菜とは.
- ・大竹道茂. (2022 年 3 月 14 日). 亀戸大根の栽培をしてきた亀戸地区の小学校などが、亀戸香取神社で開催された、収穫祭に奉納した。参照先: 江戸東京野菜通信: <http://edoyasai.sblo.jp/article/189395946.html>
- ・滝沢要, 中井検裕, 沼田麻美子. (2016 年 10 月). 東京 23 区における生態系ネットワークを踏まえた緑化施策に関する研究.
- ・長田庸平. (2021 年). 東京都区部におけるクスベニヒラタカスミカメ (カメムシ目カスミカメムシ科) の分布の現状.
- ・田中ゆう子, 岡村知忠, 岩本裕之, 鈴木秀男. (2004 年). 東京湾の護岸部における小規模な生物生息場の創出に関する研究.
- ・土屋一彬. (2025 年 1 月 31 日). 生物多様性、水、食料、健康、気候変動の危機を同時解決するために-IPBES「ネクサス評価報告書」を読み解く. 参照先: 国立研究開発法人国立環境研究所社会システム領域ウェブサイト: https://www.nies.go.jp/social/navi/colum/nexus_assessment.html
- ・奴賀俊光, 小島一幸, 永友繁, 前川真紀子. (2017 年 1 月). 東京都内湾運河部の人工構造物上で初めて確認されたウミネコの繁殖記録.
- ・東京港埠頭株式会社. 【再掲載】アライグマの出没情報について. 参照先: 海上公園なび: <https://www.tptc.co.jp/park/news/detail/1118>
- ・東京港埠頭株式会社. 若洲海浜公園 & 江東区立若洲公園. 参照先: 海上公園なび: https://www.tptc.co.jp/park/03_10/fishing
- ・東京都. (2016 年 10 月). 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書 (オリンピックアクアティクスセンター) .

- ・東京都。(2016年7月)。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書(アーチェリー会場(夢の島公園))。
- ・東京都。(2016年7月)。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書(海の森水上競技場)。
- ・東京都。(2017年10月)。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書(有明テニスの森)。
- ・東京都。(2017年1月)。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書(有明アリーナ)。
- ・東京都。(2017年3月)。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書(海の森クロスカントリーコース)。
- ・東京都。(2017年8月)。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書(有明体操競技場)。
- ・東京都。(2023年3月)。東京湾沿岸海岸保全基本計画[東京都区間]。
- ・東京都。(2023年4月)。東京都生物多様性地域戦略。
- ・東京都。木場の貯木場(江東区)1992年2月。参照先:東京アルバム:
<https://www.koho.metro.tokyo.lg.jp/photo/tokyoarchive/0009015.html>
- ・東京都環境局。(2014年5月)。植栽時における在来種選定ガイドライン~生物多様性に配慮した植栽を目指して~。
- ・東京都環境局。(2022年8月22日)。生物多様性に配慮したみどりの質の向上のための手引とエコロジカル・ネットワークマップ。参照先:東京都環境局ウェブサイト:
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/green/green_biodiv/ecological_network_map
- ・東京都環境局。(2022年6月)。生物多様性に配慮したみどりの質の向上のための手引き。
- ・東京都環境局。(2023年10月23日)。外来種対策マニュアル(アライグマ・ハクビシン)。参照先:東京都環境局ウェブサイト:
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/animals_plants/raccoon/racc_manual/
- ・東京都環境局。(2023年3月)。東京都レッドデータブック(本土部)2023。
- ・東京都環境局。(2024年10月22日)。ナガエツルノゲイトウ対策について。参照先:東京都環境局ウェブサイト:
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/animals_plants/exotic_species/nagae
- ・東京都環境局。(2025年9月30日)。海域生物調査結果。参照先:東京都環境局ウェブサイト:
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/water/tokyo_bay/creature/aquatic_creature
- ・東京都環境局。(2025年4月15日)。江戸のみどり登録緑地。参照先:東京都環境局ウェブサイト:
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/green/green_biodiv/edo_regist
- ・東京都環境局。(2025年9月)。東京都外来種対策リスト2025。
- ・東京都環境局。(2025年9月)。東京都外来種対策行動の手引き-みんなで実践!外来種対策からはじめるネイチャーポジティブ-。
- ・東京都環境局。(2025年10月)。令和7年度東京都鳥獣保護区等位置図。
- ・東京都環境局。花と緑の東京募金。参照先:東京都環境局ウェブサイト:
<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/hanamidoribokin>
- ・東京都環境局。東京都野生生物目録。参照先:デジタル版野生生物目録 東京いきもの台帳:
<https://www.inventory.ikimono.metro.tokyo.lg.jp/#one-click-search>
- ・東京都建設局。(2020年11月12日)。令和元年度 かいぼり実施結果について。参照先:東京都建設局ウェブサイト:
https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/park/tokyo_kouen/kouen0056/kouen0091
- ・東京都建設局。(2024年6月12日)。東京の川にすむ生きもの。参照先:東京都建設局ウェブサイト:
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/river/kankyo/ikimono>
- ・東京都建設局。(2024年3月23日)。東京の低地の概要。参照先:東京都建設局ウェブサイト:
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/chisui/jigyuu/teichi>

- ・ 東京都建設局. (2024年3月). パークマネジメントマスタープラン.
- ・ 東京都建設局. (2025年3月28日). 「公園別マネジメントプラン」について. 参照先: 東京都建設局: https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/park/tokyo_kouen/kbetumanagementplan
- ・ 東京都港湾局. (2017年5月). 賑わいと自然あふれる海辺を目指してー海上公園ビジョンー.
- ・ 東京都港湾局. (2025年3月). 東京港埋立護岸改修・グリーン化計画.
- ・ 東京都港湾局. 海の森に生息する生きもの. 参照先: 東京都港湾局ウェブサイト: https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/kanko/park/uminomori/post_12
- ・ 東京都港湾局. 海の森公園. 参照先: 東京都港湾局ウェブサイト: <https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/kanko/park/uminomori>
- ・ 東京都港湾局. 都立有明親水海浜公園官民連携施設事業の事業者を決定しました. 参照先: 都庁総合ホームページ: <https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2024/01/2024013008>
- ・ 東京都港湾局. 東京港の港湾統計. 参照先: 東京港港湾局ウェブサイト: <https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/yakuwari/toukei/>
- ・ 東京都都市整備局. (2023年3月). 令和3年度東京都土地利用現況調査結果.
- ・ 東京府南葛飾郡 編纂. (1998年10月、千秋社出版). 南葛飾郡誌.
- ・ 東京都立科学技術高等学校 全日制. (2023年8月1日). / | 文部科学大臣賞受賞! ヒキガエル研究班が文部科学大臣賞を受賞! 参照先: 東京都立科学技術高等学校 全日制ウェブサイト: https://www.metro.ed.jp/kagakugijyutu-h/news/2023/08/newsentry_18_2_1_1_1.html
- ・ 東京都立科学技術高等学校 全日制. (2024年7月25日). 科学技術高校と猿江恩賜公園のコラボ企画! (7/24~8/7). 参照先: 東京都立科学技術高等学校 全日制ウェブサイト: https://www.metro.ed.jp/kagakugijyutu-h/news/2024/07/7_24_8_7.html
- ・ 東部公園緑地事務所事業推進課. 猿江恩賜公園の生物多様性事業について.
- ・ 東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会. (2024年7月). 東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会の活動状況.
- ・ 独立行政法人国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター. (2021年7月). 青少年の体験活動等に関する意識調査(令和元年度調査)~心身の諸側面、社会経済的背景との関係~.
- ・ 日本政府. (2023年3月). 生物多様性国家戦略2023-2030.
- ・ 日本野鳥の会東京. 清澄庭園探鳥会. 参照先: 日本野鳥の会東京ウェブサイト: <https://wbsjt.jimdoweb.com/%E6%8E%A2%E9%B3%A5%E4%BC%9A-1/%E6%9C%88%E4%BE%8B%E6%8E%A2%E9%B3%A5%E4%BC%9A/%E6%B8%85%E6%BE%84%E5%BA%AD%E5%9C%92%E6%8E%A2%E9%B3%A5%E4%BC%9A/>
- ・ 武蔵野大学工学部サステナビリティ学科. (2024年). サステナビリティ学科提供資料.
- ・ 夢の島区民農園. 夢の島区民農園. 参照先: 夢の島区民農園ウェブサイト: <https://yumenoshimafarm.wixsite.com/home>
- ・ 夢の島公園. 夢の島の歴史. 参照先: 夢の島公園ウェブサイト: <https://www.yumenoshima.jp/park/history>
- ・ 野村圭佑. (2002年11月). 江戸の自然誌『武江産物志』を読む.
- ・ 米村惣太郎, 林豊, 中村健二. (2017年1月). 都市型ビオトープ「再生の杜」における竣工後10年目の生物生息状況.
- ・ オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」. (2025年3月). 特別区の温室効果ガス排出量(1990年度~2022年度).

